

科目名	HST310: 東洋研究					担当教員	玉置 真紀子
開講期	春	開講時限	火金2限	研究室	4号館2階 講師控室	オフィスアワー	P.16を参照のこと
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	連絡先	
キーワード	アジア基層文化、交易、先住民族、植民地化、開発、児童労働、マイクロファイナンス						
授業の概要	西洋から見た「東洋」の自然環境、歴史、宗教、文化、社会を学び、その文化的重層性と多様性を理解する。国際社会の中で、その人口規模からも経済的にも東南アジアの重要性は増している。開発が進むなかで生きる人々の生活を知り、その知恵を学ぶ。同時に、発展の陰で取り残される女性や子どもたちにも目を向け、現代社会における数々の課題の原因をふまえ、解決方法を探る。						
達成目標	東南アジアの歴史と社会を理解し、そこに生きる人々の視点を獲得することで、遠い他者を身近な隣人として考えることを可能にする。						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 東南アジアの基層文化と多様性を理解する。 ・ 人々の日常生活と経済活動を説明できる。 ・ 開発・発展に伴う貧困や児童労働などの問題群の原因を説明し、課題解決のための提案ができるようになる。 ・ 東南アジア社会を考えることは、日本社会を考えることであり、自身の生活に生かせるようになる。 						
評価方法	初回、最終回、2回の授業内試験を除いた26回の講義において提出するリアクションペーパーを2%×26回=52%とする。2回の授業内試験は、毎回配布するハンドアウト、資料、自筆ノート持ち込み可とし、24%×2回=48%とする。						
評価基準	<p>リアクションペーパー：授業内容を理解した上で、質問に対して①テーマを設定し、論理的に説明すること。②具体的に記述すること。を求める。これができるのであれば2点とする。感想のみの場合は1点となる。</p> <p>授業内試験：問題に対して①テーマを設定し、論理的に説明すること。②課題解決型の問題の場合は、具体的な解決策を提案すること。③自分の経験に引き寄せて検討すること。を求める。感想のみの場合は減点対象とする。</p>						
準備学修の時間	本科目の一回（90分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均180分が求められる。						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	講義の概要説明、東洋と東南アジアについて	講義、質疑応答	東南アジア各国の位置と成り立ちを確認する。
2	東南アジアの自然環境	講義、質疑応答 リアクションペーパー	テキスト pp.16-23 を読む
3	東南アジアの基層文化	講義、質疑応答 リアクションペーパー	テキスト pp.24-36 を読む
4	東南アジアの歴史と社会（1）インド化	講義、質疑応答 リアクションペーパー	テキスト pp.47-54 を読む
5	東南アジアの歴史と社会（2）交易の時代から植民地化へ	講義、質疑応答 リアクションペーパー	テキスト pp.55-72 を読む
6	東南アジアの歴史と社会（3）脱植民地化から国民国家形成へ	講義、質疑応答 リアクションペーパー	テキスト pp.73-79 を読む
7	東南アジアの居住空間—都市と農村	講義、DVD視聴 リアクションペーパー	テキスト pp.130-136 を読む
8	人びとは何を食べてきたか—コメの歴史と棚田のテクノロジー	講義、DVD視聴 リアクションペーパー	テキスト pp.137-150, pp.297-303 を読む
9	東南アジアの家族観—結婚、家族、親族、子どもの成長、ジェンダー	講義、DVD視聴 リアクションペーパー	テキスト pp.173-179 を読む

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
10	現代東南アジアにおける貧困とは—貧困の基準と実態	講義、DVD視聴 リアクションペーパー	参考資料を読む
11	児童労働とは(1)子どもの権利条約	講義、DVD視聴 リアクションペーパー	参考資料を読む
12	児童労働とは(2)児童労働の実態	講義、DVD視聴 リアクションペーパー	参考資料を読む
13	児童労働とは(3)子ども兵士という衝撃	講義、DVD視聴 リアクションペーパー	参考資料を読む
14	児童労働とは(4)課題解決に向けて	講義、DVD視聴 リアクションペーパー	参考資料を読む
15	東南アジアにおける児童労働のまとめと授業内試験	講義、質疑応答、試験	14回までの授業のまとめ
16	先住民族と呼ばれる人々 大陸部東南アジア・島嶼部東南アジア	講義、試験返却、講評、リアクションペーパー	テキスト pp.259-275 を読む
17	現代東南アジア史におけるキーパーソン	講義、リアクションペーパー	テキスト pp.366-412 を読む
18	東南アジアの宗教(1)仏教、ヒンズー教	講義、DVD視聴 リアクションペーパー	テキスト pp.152-157, pp.166-172 を読む
19	東南アジアの宗教(2)イスラム教、キリスト教	講義、DVD視聴 リアクションペーパー	テキスト pp.158-165 を読む
20	マイクロファイナンスを学ぶ(1)マイクロファイナンスの成立と背景	講義、DVD視聴 リアクションペーパー	参考資料を読む
21	マイクロファイナンスを学ぶ(2)マイクロファイナンス機関と実践	講義、DVD視聴 リアクションペーパー	参考資料を読む
22	マイクロファイナンスを学ぶ(3)課題と解決に向けて	講義、DVD視聴 リアクションペーパー	参考資料を読む
23	移住/移民労働者(1)海外出稼ぎという選択	講義、DVD視聴 リアクションペーパー	参考資料を読む
24	移住/移民労働者(2)残された家族の生活	講義、DVD視聴 リアクションペーパー	参考資料を読む
25	日本で働く東南アジアの人々(1)送り出し国側の問題	講義、DVD視聴 リアクションペーパー	参考資料を読む
26	日本で働く東南アジアの人々(2)受け入れ国側の問題	講義、DVD視聴 リアクションペーパー	参考資料を読む
27	東南アジアにおける経済と労働問題のまとめと授業内試験	講義、質疑応答、試験	26回までの授業のまとめ
28	東南アジアの表象文化(1)文学、美術	講義、質疑応答 リアクションペーパー	テキスト pp.196-201, pp.241-249 を読む
29	東南アジアの表象文化(2)演劇、映画	講義、質疑応答 リアクションペーパー	テキスト pp.205-213, pp.226-233 を読む
30	東洋を再考する、試験の振り返り	講義、試験返却、講評	これまでの復習

テキスト	今井昭夫編『東南アジアを知るための50章』(明石書店)
参考書	① 大野拓司・寺田勇文編著『現代フィリピンを知るための61章【第2版】』(明石書店) ② 清水一史・田村慶子・横山豪志編著『東南アジア現代政治入門』(ミネルヴァ書房)
その他 特記事項	学習者にとって初めて聞く・見る内容ばかりの内容になると思います。好奇心を持って臨んで下さい。質問は、リアクションペーパーに記入すれば、次回返答致します。

科目名	HST301: 英米史					担当教員	森下 園
開講期	秋	開講時限	月木2限	研究室	4202	オフィスアワー	P.16を参照のこと
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	連絡先	
キーワード	英国史、米国史、英米文化、英米文学						
授業の概要	英国・米国の歴史について、日本語・英語の史資料を読みながら基本的に年代順に見ていく。古代ローマ時代から現代まで、政治史だけではなく文化的トピックについても取り上げる。歴史の長さから、英国史が2/3を占めることになる。						
達成目標	英国・米国の歴史と文化的背景を学び、史資料を用いて自分の言葉で特定の事件やトピックの歴史上の位置づけや意義について説明できるようにすることが目標である。						
到達目標	講義前にテキストや指示されたネット資料など(Moodleで指示)を読み、内容を400字程度にまとめる(評価①)。授業後にポイントや質問を履修カードに記入することで各回のポイントを把握できるようになる(評価②)。史資料を用いて関心のある時代や出来事について調べ、自分の言葉で論述できるようになる(評価③)。						
評価方法	①予習課題：2%×24回=48% (授業時に提出) ②授業課題：1%×28回=28% (授業時に提出) ③2,000字、参考文献・資料リストつきのレポート：24%						
評価基準	①予習課題：要点を整理して自分の言葉で文章としてまとめているか、授業開始時にそれを持ってきているか ②授業課題：授業での要点や課題について、授業内容を踏まえて自分の言葉でまとめているか、あるいは授業内容に関する質問・意見を書いているか ③レポート：関心のある時代・事件・人物について、自分で参考文献などを調べた内容をまとめているか、適切な引用・参考文献リストを提示しているか						
準備学修の時間	本科目の一回(90分)の授業のための授業外学修(予習・復習)時間は、平均180分が求められる。						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
1	はじめに—UKとUSA	講義、質疑応答	復習：テキスト3-10頁を読む
2	ケルトとローマン・ブリテン	講義、質疑応答、履修カード記入	復習：テキスト10-29頁を読む
3	アングロ・サクソン王国と北海帝国	講義、質疑応答、履修カード記入	予習：テキスト30-37頁の要約
4	ノルマン・コンクエストとアンジュー帝国	講義、質疑応答、履修カード記入	予習：テキスト37-53頁の要約
5	アーサー王と円卓の騎士のロマンス	講義、質疑応答、履修カード記入	予習：テキスト53-59頁の要約
6	英仏百年戦争とバラ戦争	講義、質疑応答、履修カード記入	予習：テキスト60-69頁の要約
7	ヘンリ7世・ヘンリ8世・エドワード6世と宗教改革	講義、質疑応答、履修カード記入	予習：テキスト73-91頁の要約
8	メアリ女王とエリザベス女王	講義、質疑応答、履修カード記入	予習：テキスト91-104頁の要約
9	シェイクスピアと中世演劇	講義、質疑応答、履修カード記入	予習：テキスト105-112頁の要約
10	内乱	講義、質疑応答、履修カード記入	予習：テキスト115-135頁の要約

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
11	名誉革命	講義、質疑応答、履修カード記入	予習：テキスト135-146頁の要約
12	近世の政治・財政・宗教	講義、質疑応答、履修カード記入	予習：テキスト149-174頁の要約
13	アメリカ初期の歴史	講義、質疑応答、履修カード記入	予習：Moodleで指示した予習課題
14	アメリカ植民	講義、質疑応答、履修カード記入	予習：Moodleで指示した予習課題
15	アメリカ独立戦争	講義、質疑応答、履修カード記入	予習：テキスト177-185頁の要約
16	アメリカの西部開拓時代	講義、質疑応答、履修カード記入	予習：Moodleで指示した予習課題
17	アメリカ南北戦争と奴隷制	講義、質疑応答、履修カード記入	予習：Moodleで指示した予習課題
18	アメリカの金ピカ時代	講義、質疑応答、履修カード記入	予習：Moodleで指示した予習課題
19	産業革命と万国博覧会	講義、質疑応答、履修カード記入	予習：テキスト186-197頁の要約
20	ヴィクトリア朝の女性たち	講義、質疑応答、履修カード記入	予習：テキスト201-222頁の要約
21	パクス・ブリタニカ レポート作成の注意点	講義、質疑応答、履修カード記入	予習：テキスト222-246頁の要約
22	アメリカの繁栄と移民	講義、質疑応答、履修カード記入	予習：Moodleで指示した予習課題
23	第一次世界大戦	講義、質疑応答、履修カード記入	予習：テキスト249-275頁の要約
24	第二次世界大戦	講義、質疑応答、履修カード記入	予習：テキスト275-282頁の要約
25	アメリカの公民権運動	講義、質疑応答、履修カード記入	レポート作成
26	米ソ冷戦	講義、質疑応答、履修カード記入	レポート作成
27	アイルランド問題	講義、履修カード記入、レポート提出	レポート作成
28	大英帝国、ブリティッシュコモンウェルス、コモンウェルス	講義、質疑応答、履修カード記入	予習：Moodleで指示した予習課題
29	現代のイギリス	講義、質疑応答、履修カード記入	予習：テキスト285-302頁の要約
30	現代のアメリカ レポート返却と講評	講義、質疑応答、レポート講評	振り返り、学修ポートフォリオ記入

テキスト	近藤和彦『イギリス史10講』(岩波新書) 授業プリントをMoodleで配付するので、各自が授業前に印刷して持ってくること。
参考書	指昭博『図説 イギリスの歴史(増補新版)』(河出書房新社) 紀平英作編『アメリカ史』(山川出版社)
その他 特記事項	板書はしない方針である。

科目名	HST300: 比較社会史					担当教員	森下 園
開講期	秋	開講時限	月木3限	研究室	4202	オフィスアワー	P.16を参照のこと
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	連絡先	
キーワード	社会史、社会構築主義、身分階層、ジェンダー、家族、教育						
授業の概要	社会構築主義の観点から、身分階層、ジェンダー、家族、他者排除、ナショナリズムとグローバリゼーションなどについて講義を行う。地域・時代が異なる事例をトピックごとに取り上げていく。高校レベルの世界史の知識を前提とする。						
達成目標	受講生が社会構築主義に基づく分析に必要な用語・概念を理解し、これらを用いて国内外の社会の諸問題を各自の問題意識と観点から論述できるようにする。						
到達目標	学生は次回授業プリントを読んで事典類で用語などを調べ、あるいは予習教材を視聴することで予習する習慣をつける。授業課題を書くことで毎回のポイントを把握できるようになる(評価①)。任意の社会問題について、授業で学んだ用語や概念を用いて分析し、自分の見解を論述できるようになる(評価②)。						
評価方法	①授業課題：2%×26回=52% (Moodleで提出)、 ②ペン書き論述式の授業内試験：24%×2回=48% (*特記事項を参照)						
評価基準	①授業課題：要点を整理して自分の言葉でまとめているか、提出期限を守っているか。研究倫理を守らない(友達の課題を写す、またはネット情報や事典類などから無断引用する)場合は0点、なお授業を欠席した回の授業課題は採点対象にならない。 ②授業内試験：社会問題などの事例を各自が選び、授業で扱った用語・理論・概念を用いて分析し、自分なりの考察を加えて論述できているか。						
準備学修の時間	本科目の一回(90分)の授業のための授業外学修(予習・復習)時間は、平均180分が求められる。						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
1	社会史と社会構築主義 研究倫理について	講義、質疑応答	1回授業内容の復習 2回授業の予習
2	近代の学的知(1) 歴史学	講義、質疑応答	2回授業課題の提出 3回授業の予習
3	近代の学的知(2) 英文学と比較文学	講義、質疑応答	3回授業課題の提出 4回授業の予習
4	近代の学的知(3) 文化人類学・自然人類学	講義、質疑応答	4回授業課題の提出 5回授業の予習
5	近代の学的知(4) ジェンダー・スタディーズ	講義、質疑応答	5回授業課題の提出 6回授業の予習
6	王権(1) 西欧の王 — 皇帝と王をめぐる理論	講義、質疑応答	6回授業課題の提出 7回授業の予習
7	王権(2) 日本の王 — 王と将軍の関係	講義、質疑応答	7回授業課題の提出 8回授業の予習
8	身分階層(1) 身分と社会的ステータス	講義、質疑応答	8回授業課題の提出 9回授業の予習
9	身分階層(2) カースト制	講義、質疑応答	9回授業課題の提出 10回授業の予習
10	教育と学校 — 教育の誕生と文化資本	講義、質疑応答	10回授業課題の提出 11回授業の予習

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
11	女性と職業 — ガヴァネスと看護師	講義、質疑応答	11回授業課題の提出 12回授業の予習
12	家族と社会(1) 近代イングランド	講義、質疑応答	12回授業課題の提出 13回授業の予習
13	家族と社会(2) 近代日本	講義、質疑応答	13回授業課題の提出 14回授業の予習
14	女性のイメージ — 近代日本の女子学生と主婦	講義、質疑応答	14回授業課題の提出 授業内試験の準備
15	グループ討議、第一回授業内試験①	質疑応答、グループ討議、試験(45分)	16回の予習
16	スティグマの付与(1) 聖女と魔女	講義、質疑応答	16回授業課題の提出 17回授業の予習
17	スティグマの付与(2) アウトサイダー	講義、質疑応答	17回授業課題の提出 18回授業の予習
18	死者との交流(1) 西欧の幽霊	講義、質疑応答	18回授業課題の提出 19回授業の予習
19	死者との交流(2) 日本の幽霊	講義、質疑応答	19回授業課題の提出 20回授業の予習
20	他者イメージの構築 ポストコロニアリズム、第一回授業内試験の返却と解説	講義、質疑応答	20回授業課題の提出 21回授業の予習
21	言語(1) 標準語の問題	講義、質疑応答	21回授業課題の提出 22回授業の予習
22	言語(2) クレオール	講義、質疑応答	22回授業課題の提出 23回授業の予習
23	法と秩序	講義、質疑応答	23回授業課題の提出 24回授業の予習
24	無縁とアジール	講義、質疑応答	24回授業課題の提出 25回授業の予習
25	ナショナリズム(1) 日本人とは誰か	講義、質疑応答	25回授業課題の提出 26回授業の予習
26	ナショナリズム(2) 想像の共同体	講義、質疑応答	26回授業課題の提出 27回授業の予習
27	記憶と記録	講義、質疑応答	27回授業課題の提出 授業内試験の準備
28	グループ討議、第二回授業内試験②	質疑応答、グループ討議、試験(45分)	29回授業プリントの予習
29	サブカルチャー	講義、質疑応答	29回授業課題の提出 30回授業プリントの予習
30	社会構築主義の応用、第二回授業内試験の返却と解説	講義、質疑応答	振り返り・学修ポートフォリオ記入

テキスト	なし。プリント・予習用教材を Moodle で配付するのでプリントは各自が授業前に印刷して持ってくること。
参考書	上野千鶴子『構築主義とは何か』(勁草書房)
その他特記事項	授業内試験は手書きだが、合理的配慮を要する場合はパソコン入力での解答を許可する。なお板書はしない方針である。

科目名	INT301: 国際関係論					担当教員	山本 和也
開講期	春	開講時限	月木3限	研究室	4号館2階 講師控室	オフィスアワー	P.16を参照のこと
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	連絡先	
キーワード	戦争、平和、貧困、難民、国際問題、国家、NGO						
授業の概要	国際関係論は、主として近代から現代までの国際社会の特徴を分析する学問である。本講では、国際関係の歴史、平和に関する思想・哲学、戦争をめぐる諸問題、戦争以外のさまざまなグローバルな課題に大別して解説する。講義では、担当者からの解説に加えて、映像資料を用いることで、具体的な事例を通じた理解を図る。						
達成目標	近代以降の国際関係の基本的なしくみと現代国際社会の課題を理解する。それによって、グローバル化のなかで、私たちの日常が国際社会の影響をどのように受け、また反対に、私たちの何気ない行動が国際社会にどのようなインパクトを与えているかを認識する。						
到達目標	達成目標で示した「しくみ」「課題」「私たちとの関係」を、根拠に基づいて論理的に考察できるようになる。また、それまで自分とは無関係と思っていた国際社会の出来事に対しても、自身と関連付けて見られるようになる。						
評価方法	履修カード（25%）、講義内試験（60%）、個人発表と議論（15%）						
評価基準	履修カード：講義内容を自身の言葉で要約・整理できているか。 講義内試験：講義内容を記述しているか。加えて論述問題では、自身の考えも述べているか。 個人発表：講義内容を掘り下げて自身の問題関心が示されているか。						
準備学修の時間	本科目の一回（90分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均180分が求められる。						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	国際関係論とはどのような学問か?	講義、質疑応答、履修カード	自筆ノートと配布資料の復習
2	国際関係の歴史（1）：主権国家とその体系の成立	講義、質疑応答、履修カード	自筆ノートと配布資料の復習
3	国際関係の歴史（2）：近代世界システムの拡大	講義、質疑応答、履修カード	自筆ノートと配布資料の復習
4	国際関係の歴史（3）：主権国家システムの変容とグローバル化	講義、質疑応答、履修カード	自筆ノートと配布資料の復習
5	国際関係の歴史（4）：外交態様の変遷	講義、質疑応答、履修カード	自筆ノートと配布資料の復習
6	国際関係の歴史（5）：文明論	講義、質疑応答、履修カード	自筆ノートと配布資料の復習
7	講義内試験およびその解説（1）	試験、解説	試験準備（第1-6回の内容理解）
8	平和の思想（1）：平和主義の諸類型	対話型講義、履修カード	自筆ノートと配布資料の復習
9	平和の思想（2）：義務論の平和論	対話型講義、履修カード	自筆ノートと配布資料の復習
10	平和の思想（3）：目的論の平和論	対話型講義、履修カード	自筆ノートと配布資料の復習
11	講義内試験およびその解説（2）	試験、解説	試験準備（第8-10回の内容理解）

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
12	武力紛争の諸課題(1): 伝統的安全保障	講義、質疑応答、履修カード	自筆ノートと配布資料の復習
13	武力紛争の諸課題(2): 核抑止と不拡散	講義、質疑応答、履修カード	自筆ノートと配布資料の復習
14	武力紛争の諸課題(3): 人間の安全保障	講義、質疑応答、履修カード	自筆ノートと配布資料の復習
15	武力紛争の諸課題(4): 内戦と小型武器規制	講義、質疑応答、履修カード	自筆ノートと配布資料の復習
16	武力紛争の諸課題(5): 人道支援・人道的介入・平和構築	講義、質疑応答、履修カード	自筆ノートと配布資料の復習
17	武力紛争の諸課題(6): 国連PKOの理念と現実	映像資料、解説、質疑応答、履修カード	自筆ノートと配布資料の復習
18	武力紛争の諸課題(7): 難民支援と国際機関	映像資料、解説、質疑応答、履修カード	自筆ノートと配布資料の復習
19	講義内試験およびその解説(3)	試験、解説	試験準備(第12-17回の内容理解)
20	グローバルイシュー(1): 国際テロリズム	講義、質疑応答、履修カード	自筆ノートと配布資料の復習
21	グローバルイシュー(2): ホームグロウンテロリズム	映像資料、解説、質疑応答、履修カード	自筆ノートと配布資料の復習
22	グローバルイシュー(3): 移民と多文化社会	映像資料、解説、質疑応答、履修カード	自筆ノートと配布資料の復習
23	グローバルイシュー(4): グローバルな経済格差	映像資料、解説、質疑応答、履修カード	自筆ノートと配布資料の復習
24	グローバルイシュー(5): 地球環境問題	講義、質疑応答、履修カード	自筆ノートと配布資料の復習
25	グローバルイシュー(6): 国際感染症問題への国際対応	映像資料、解説、質疑応答、履修カード	自筆ノートと配布資料の復習
26	グローバルイシュー(7): 国際災害ボランティアの役割	映像資料、解説、質疑応答、履修カード	自筆ノートと配布資料の復習
27	グローバルイシュー(8): 複合問題としての水資源問題	映像資料、解説、質疑応答、履修カード	自筆ノートと配布資料の復習
28	講義内試験およびその解説(4)	試験、解説	試験準備(第20-27回の内容理解)
29	個人発表(1) (履修人数によってはグループ発表)	議論と解説	講義内容のうち、各自(各グループ)が関心を持ったトピックを掘り下げて発表するための準備
30	個人発表(2) (履修人数によってはグループ発表)	議論と解説	講義内容のうち、各自(各グループ)が関心を持ったトピックを掘り下げて発表するための準備
テキスト	講義内容の概略を示したレジюмеと法令文書をはじめとする一次資料などの関連資料を毎回配布する。		
参考書	毎回関連文献を紹介する。		

科目名	ANT200: 文化人類学					担当教員	C. Oliver
開講期	秋	開講時限	火金1限	研究室	4205	オフィスアワー	P.16を参照のこと
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	連絡先	
キーワード	cultural anthropology, culture, fieldwork, understanding others, interview research						
授業の概要	This course provides an introduction to cultural anthropology. Regular class sessions will consist of lectures, watching scenes from films, and discussions among students. Examples will come from many parts of the world, including Indonesia, Mexico, Papua New Guinea, Iran, North America, and sub-Saharan Africa. Each student will do an interview project (with a written report) and discuss the findings in class. All lectures, assignments, and tests will be in English.						
達成目標	This course will help students understand what cultural anthropologists study and how they study it. Students will also be able to develop their own research skills.						
到達目標	<p>By the end of the semester, students should be able to:</p> <ul style="list-style-type: none"> • understand key ways that anthropological study differs from that of other social sciences; • understand broadly the range of topics often studied in anthropology; • understand and explain the significance of key examples of those topics; • understand key anthropological concepts and apply them to cultural processes; • use careful observation and inference-making to gain cultural understanding; • ask good questions for doing qualitative, interview research. 						
評価方法	Participation 10%; Homework 30%; Interview Project, including written report 30%; Tests 30%.						
評価基準	<p>Participation: Active participation in everyday class activities, including discussions.</p> <p>Homework: Submitted on time and completed thoroughly, shows adequate understanding and application of key concepts, demonstrates careful observation and inference-making.</p> <p>Interview Project: Each part submitted on time and according to instructions, demonstrates good interview research questions as well as careful observation and inference-making.</p> <p>Tests: Demonstrate understanding of how anthropological study differs from that of other social sciences, understanding of the range of topics studied in anthropology, understanding and ability to explain the significance of key examples, understanding and ability to apply key concepts, and careful observation and inference-making.</p>						
準備学修の時間	For each 90-minute class session of this course, an average of 180 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
1	What is cultural anthropology?	lecture	Review syllabus, read pp. 2 & 73-74
2	Culture: definitions and examples	lecture, pair work	Read pp. 34-41
3	Anthropological research: fieldwork	lecture, video, pair work	Read pp. 13, 21-24 (also skim pp. 1-12 for homework)
4	Anthropological research: dialogue	lecture, video, pair work	Complete homework about textbook authors' fieldwork
5	Doing qualitative interviews: the basics	interview practice with another student	Read handout provided by the teacher
6	Religion: general approach	lecture, video, pair work	Complete interview practice worksheet
7	Religion: "witchcraft" in Africa	lecture, pair work	Read pp. 123-125
8	Interview Project planning (interview project will be explained)	lecture, small-group discussion	Read handout about Interview Project
9	Ritual: general concepts	lecture, video, pair work	Complete HW about objective / subjective information

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
10	Ritual: what do rituals “do”?	lecture, video, pair work	Read pp. 123-125
11	Marriage and family: key concepts	lecture, pair work	Read pp. 75-81, 86-87; complete HW about film
12	Marriage and family: cultural arrangements	lecture, pair work	Complete homework about marriage practices
13	Doing qualitative interviews: strategies for asking good questions	interview practice with another student	Read handout provided by the teacher
14	Gift-giving and exchange: general concepts	lecture, pair work	Complete interview practice worksheet
15	Gift-giving and exchange: <i>potlatch</i> (also: discuss Interview Project topics)	lecture, video, small-group discussion	Read pp. 109-112, 115-117; complete Interview Proj. topic
16	Gift-giving and exchange: <i>kula</i>	lecture, simulation (role-play)	Read pp. 109-112, 115-117
17	Culture and person / self: general concepts	lecture, pair work	Read pp. 131-141
18	Culture and person / self: cultural variations	lecture, pair work	Complete worksheet on Ch. 8
19	Health, illness, and medicine: key concepts	lecture, pair work	Read pp. 136-140
20	Health, illness, and medicine: culture-bound syndromes	lecture, pair work	Complete homework on culture-bound illnesses
21	Review, Test #1	lecture, test	Study for test
22	Social class: cultural dimensions	lecture, video, pair work	Read pp. 93, 103
23	Identity: general concepts	lecture, pair work	Read pp. 92-94, 96-100
24	Discuss Interview Project findings (based upon each student’s completed interview)	small-group discussion	Complete interview; prepare copy of actual interview notes
25	Identity: the importance of others	lecture, video, pair work	Read pp. 92-94, 96-100
26	Nation and culture: what holds society together? (also: feedback on Test #1)	lecture, pair work	Read pp. 63-64, 89-90, 96-100
27	Globalization and transnationalism: anthropological approaches	lecture, pair work	Read pp. 103-106; complete Interview Project report
28	Review, Test #2	lecture, test	Study for test
29	Watch film: “Children of Heaven” (making observations, forming inferences)	pair work, watch video while taking notes	Complete Fact Sheet on Iran
30	Discuss film: observations / inferences; semester recap (incl. feedback on Test #2)	small-group discussion, lecture	Complete worksheet about the film

テキスト	J. Monaghan & P. Just. <i>Social & Cultural Anthropology: A Very Short Introduction</i> (Oxford University Press).
参考書	H. Peters-Golden. <i>Culture Sketches: Case Studies in Anthropology</i> (McGraw-Hill).
その他特記事項	Lectures, assignments, and tests will be in English. Each student must do an Interview Project that requires finding a suitable person to interview and interviewing that person outside of class.

科目名	ART200: 現代美術					担当教員	G. Freddes
開講期	春	開講時限	火金2限	研究室	4号館2階 講師控室	オフィスアワー	P.16を参照のこと
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	連絡先	
キーワード	Romanticism, Japonisme, Modernism, Modern Art, Contemporary Art, Post-Modern Art						
授業の概要	This course will explore developments in art from the 19 th to the 21 st Century. Each class will begin with a lecture and / or video on an artist, period, or style. This will be followed by readings pertaining to the lecture and discussion in small groups. Every class will conclude with students writing comments on class content and their online research. Students will be required to conduct research in areas of personal interest, visit two museums and submit two written reports in English.						
達成目標	Students will acquire a fundamental knowledge of major artists and art movements of the past 200 years. They will learn the vocabulary of art and various ways of looking at art by considering its formal characteristics, materials, and cultural / historical contexts. The course aims to support students in developing insights into how the rapidly changing modern world has affected individual artists and how they, in turn, have influenced and shaped the world in which we live.						
到達目標	By the end of this course students will be able to recognize many of the most important modern artists. They will be able to describe the works formal characteristics, materials, and possess some understanding of its cultural / historical significance. Ultimately, students will be able to enjoy visiting museums, viewing new works, and more confidently express personal opinions.						
評価方法	Participation and Written Reactions (40%), Midterm Report (25%), Final Report (35%)						
評価基準	Participation, Written Reactions (Note-taking during lecture, involvement in discussions and art-making activities, effort in answering all written reactions using vocabulary learned in class and expressing a personal opinion of the artworks seen in class, online research summary) Midterm Report (at least 600 words) Final Report (at least 800 words) Guidelines for both are the same. (1) Choose an artist of interest and research his / her life. Write the artist's biography. (2) Choose at least six works by the artist and, using vocabulary learned in class, describe the works in detail. Write a conclusion including what you learned about the artist. (3) Visit a museum and report on what you saw. Choose at least five works seen and write in detail about each of them, including materials, formal characteristics, the work's cultural / historical context, and a personal opinion.						
準備学修の時間	For each 90-minute class session of this course, an average of 180 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1	Course Introduction. What is Modern Art? The Louvre, Orsay, and Beaubourg Museums	Lecture, video, reading, writing, online sources	Read textbook pp. 66-71 Visit the 3 museum's website
2	Introduction to the textbook, online resources, and art vocabulary;	Lecture, video, note-taking skills, writing	Read text pp. 76-78 Review, View online resources
3	The Nineteenth Century: Birth of the "Isms" Neoclassicism and Romanticism	Lecture, video, note-taking, talk, writing	Read text pp. 74-75, 79-80 Review, Online research
4	Romanticism: Goya, Turner, Chopin, & Verdi	Lecture, video, note-taking, talk, writing	Read text pp. 81-88 Review, Online research
5	Nineteenth Century Japan: Ukiyo-e, Hokusai	Lecture, video, note-taking, talk, writing	Read text pp. 89-91 Review, Online research
6	The Industrial Revolution: Early modern architecture, Japonisme, Art Nouveau	Lecture, video, note-taking, talk, writing	Read text pp. 92-95 Review, Online research
7	Birth of Photography: Inventors, Pioneers, Travel, War Documentary, Portrait, Art	Lecture, video, note-taking, talk, writing	Read text pp. 96-103 Review, Online research
8	Impressionism: Manet, Monet	Lecture, video, note-taking, talk, writing	Read text pp. 104-109 Review, Online research
9	Impressionism: Renoir, Degas, Cassatt, Morisot	Lecture, video, note-taking, talk, writing	Read text pp. 110-113, 133 Review, Online research

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
10	Modern Sculpture: Rodin vs. Brancusi	Lecture, video, note-taking, talk, writing	Read text pp. 114-115 Review, Online research
11	Post-Impressionism: Seurat, Lautrec	Lecture, video, note-taking, talk, writing	Read text pp. 118-122 Review, Online research
12	Post Impressionism: Gauguin, Van Gogh	Lecture, video, note-taking, talk, writing	Bring colored pencils, markers, or pastels to class
13	Van Gogh: “The Sunflowers”	Art making activity	Read text pp. 123-125 Review, Online research
14	Early Expressionism: Munch, Modersohn-Becker; Symbolism: Rousseau, Redon	Lecture, video, note-taking, talk, writing	Read text pp. 128-133, Review, Online research
15	Fauvism: Matisse, Vlaminck, Derain, Dufy	Lecture, video, note-taking, talk, writing	Submit Midterm Report, Bring scissors, glue, colored paper
16	Matisse cutouts: Create a class mural	Art making activity	Read text pp. 116-117, 136-138, Review, Online research
17	Cezanne, Picasso	Lecture, video, note-taking, talk, writing	Read text pp. 139-145 Review, Online research
18	Futurism; Constructivism; Precisionism; Expressionism	Lecture, video, note-taking, talk, writing	Read text pp. 146-147 Review, Online research
19	Modernist Architecture: Le Corbusier	Lecture, video, note-taking, talk, writing	Read text p. 148 Review, Online research
20	Dada: Duchamp, Arp, Schwitters	Lecture, video, note-taking, talk, writing	Read text pp. 149-151 Review, Online research
21	Surrealism: Miro, Ernst, Dali, Magritte	Lecture, video, note-taking, talk, writing	Read text pp. 152-153 Review, Online research
22	20 th Century Photography: Cartier-Bresson	Lecture, video, note-taking, talk, writing	Read text pp. 158-163 Review, Online research
23	Figural and Abstract Expressionism	Lecture, video, note-taking, talk, writing	Read text pp. 172-176 Review, Online research
24	Pre-Pop, and Pop Art	Lecture, video, note-taking, talk, writing	Read text pp. 177-179 Review, Online research
25	Minimal, and Conceptual Art	Lecture, video, note-taking, talk, writing	Read text pp. 188-189 Review, Online research
26	Neo-Expressionism	Lecture, video, note-taking, talk, writing	Submit Final Reports Read text pp. 190-193
27	Post-Modernism: Diversity	Video, Submit Final Reports, writing	Read p. 194 to end of text Review, Online research
28	Current Trends 1990-2000	Lecture, video, note-taking, talk, writing	Read Handout, Review, Online research summary
29	Current Trends 2001-2017	Lecture, video, note-taking, talk, writing	Submit late Final Reports (will not be returned to you)
30	Course review	Lecture, slideshow, Course Survey	Last chance to submit the Final Reports (not returned)

テキスト	Carol Strickland. <i>The Annotated Mona Lisa, Second Edition</i> (Andrews and Mc Meel).
参考書	<i>The Letters of Vincent van Gogh</i> The Museum of Modern Art: Online Collection
その他 特記事項	All lectures and student writing will be entirely in English. Videos: English / Bilingual / Japanese. And, as mentioned above, students must visit two museums and write two reports in English.

科目名	EDU302: 比較・国際教育学					担当教員	杉村 美佳
開講期	春	開講時限	火金 4 限	研究室	4220	オフィスアワー	P.16 を参照のこと
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2 年	連絡先	
キーワード	教育の国際比較、教育問題、教育制度、教育政策、開発と教育、グローバル化と教育						
授業の概要	先進国と途上国における教育の現状や課題について、歴史、政治、経済、文化等と関連付けて概観し、比較・国際教育学の基礎理論を理解する。さらに、今日的教育課題である多文化教育、シティズンシップ教育、開発教育や国際教育協力等のあり方を国際的視点から考察する。最後に教育の国際比較をテーマにグループでレジュメを作成し、プレゼンテーションを行う。						
達成目標	比較・国際教育学の基礎理論を理解し、日本と諸外国の教育の現状や課題について、歴史的、政治的、経済的、文化的背景と関連付けて考察し、国際的視野から教育問題の解決に向けた方策を論じられるようになることを目標とする。						
到達目標	①日本と諸外国の教育制度や教育政策、教育問題等について、歴史、政治、経済、文化等と関連付けて考察する力を身につけ、比較・国際教育学の基礎理論を習得する。 ②比較・国際教育学的視点から教育事象を論理的、批判的に分析し、教育問題の解決に向けた方策を考察することができる。 ③各国の教育の現状や課題について、文献の内容をまとめてレジュメを作成し、効果的に発表し、議論することができる。						
評価方法	授業時に課すリアクションペーパー（30%）、レジュメ・プレゼンテーション（30%）、授業内試験（40%）						
評価基準	リアクションペーパー：論題について授業内容をふまえて論理的に考察できているか。 レジュメ：設定したテーマに即して参考文献の内容を的確にまとめ、教育事象を論理的、批判的に考察できているか。 プレゼンテーション：パワーポイントなど発表を効果的にする資料を準備し、研究内容をわかりやすく伝える工夫をしているか。 授業内試験：授業の内容を理解し、設問に対して正確に回答できているかを評価する。						
準備学修の時間	本科目の一回（90 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 180 分が求められる。						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	比較教育学の歴史的展開と課題	講義・ディスカッション リアクションペーパー	配布プリントの要約・考察
2	国際教育学の歴史的展開と課題	講義・ディスカッション リアクションペーパー	教育の国際組織を調べる 配布プリントの要約・考察
3	教育制度の国際比較（1） — 就学率・識字率・児童労働 —	講義・DVD 視聴 リアクションペーパー	児童労働について調べる 配布プリントの要約・考察
4	教育制度の国際比較（2） — 学校教育制度の類型 —	講義・ディスカッション リアクションペーパー	英文記事の和訳 配布プリントの要約・考察
5	教育制度の国際比較（3） — 教育制度改革の焦点 —	講義・DVD 視聴 リアクションペーパー	配布記事の要約・考察 配布プリントの要約・考察
6	教育文化の国際比較	講義・ディスカッション リアクションペーパー	配布資料の要約・考察 配布プリントの要約・考察
7	先進国における学校化社会と学歴（1） — 学校化社会と学歴社会 —	講義・DVD 視聴 リアクションペーパー	学歴社会について調べる 配布プリントの要約・考察
8	先進国における学校化社会と学歴（2） — ヨーロッパの非学歴社会 —	講義・ディスカッション リアクションペーパー	配布記事の要約・考察 配布プリントの要約・考察
9	先進国における生涯学習社会	講義・DVD 視聴 リアクションペーパー	配布記事の要約・考察 配布プリントの要約・考察

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
10	発展途上国における識字教育(1) —非識字者の分布と構成—	講義・ディスカッション リアクションペーパー	識字教育について調べる 配布プリントの要約・考察
11	発展途上国における識字教育(2) —識字教育の取り組み—	講義・DVD視聴 リアクションペーパー	SDGsについて調べる 配布プリントの要約・考察
12	先進国における国民統合と学校教育(1) —新自由主義的教育政策—	講義・ディスカッション リアクションペーパー	新自由主義について調べる 配布プリントの要約・考察
13	先進国における国民統合と学校教育(2) —多文化共生教育—	講義・ディスカッション リアクションペーパー	配布資料の要約・考察 配布プリントの要約・考察
14	多文化教育の国際比較	講義・ディスカッション リアクションペーパー	多文化教育について調べる 配布プリントの要約・考察
15	発展途上国における国民統合と学校教育 —マレーシアを中心に—	講義・ディスカッション リアクションペーパー	配布資料の要約・考察 配布プリントの要約・考察
16	世界のシティズンシップ教育	講義・ディスカッション リアクションペーパー	市民教育について調べる 配布プリントの要約・考察
17	開発と教育(1) —開発教育—	講義・DVD視聴 リアクションペーパー	開発教育について調べる 配布レジユメの要約・考察
18	開発と教育(2) —国際教育協力—	講義・ディスカッション リアクションペーパー	国際教育協力を調べる 配布レジユメの要約・考察
19	開発と教育(3) —JICAによる国際教育協力の実態—	講義・ディスカッション リアクションペーパー	JICAについて調べる 配布レジユメの要約・考察
20	欧米の自由教育	講義・DVD視聴 リアクションペーパー	自由教育について調べる 配布レジユメの要約・考察
21	小括と授業内試験	講義・質疑応答 授業内試験	20回目までの授業内容の復習
22	試験の解説・プレゼンテーションの準備	講義・質疑応答 リアクションペーパー	口頭発表の準備 配布レジユメの復習
23	アジアの教育(1) 東南アジア	口頭発表・講評 リアクションペーパー	口頭発表の準備 配布レジユメの復習
24	アジアの教育(2) 南アジア	口頭発表・講評 リアクションペーパー	口頭発表の準備 配布レジユメの復習
25	西ヨーロッパの教育	口頭発表・講評 リアクションペーパー	口頭発表の準備 配布レジユメの復習
26	北ヨーロッパの教育	口頭発表・講評 リアクションペーパー	口頭発表の準備 配布レジユメの復習
27	中東の教育	口頭発表・講評 リアクションペーパー	口頭発表の準備 配布レジユメの復習
28	アフリカの教育	口頭発表・講評 リアクションペーパー	口頭発表の準備 配布レジユメの復習
29	北米・中南米の教育	口頭発表・講評 リアクションペーパー	口頭発表の準備 配布レジユメの復習
30	オセアニアの教育	口頭発表・講評 リアクションペーパー	口頭発表の準備 配布レジユメの復習
テキスト	なし。毎回書き込み式講義ノートと新聞記事などの資料を配布する。		
参考書	石附実『比較・国際教育学』(東信堂) 二宮皓編著『世界の学校』(学事出版)		
その他 特記事項	JICAからゲストスピーカーを招き、日本の国際教育協力の実態について講義を行う。		

科目名	EDU320: 言語とリテラシー教育					担当教員	M. Andrade
開講期	秋	開講時限	月木5限	研究室	4号館2階 講師控室	オフィスアワー	P.16を参照のこと
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	連絡先	
キーワード	education, English, literacy, reading, teaching, writing						
授業の概要	The course introduces the principles of reading and writing instruction used in Kindergarten through Grade 5 in the United States and then analyzes videos of classroom teaching to understand how these principles are applied. Students can use the knowledge gained in this course to improve their skills as language tutors of English or Japanese. They will also gain understanding of cross-cultural differences between the American and Japanese educational systems.						
達成目標	To understand the basic principles of teaching and learning how to read and write in monolingual, bilingual, and multilingual classrooms. To become familiar with methods and materials used to teach literacy skills at the elementary school level. To become aware of cross-cultural similarities and differences in approaches to education.						
到達目標	Students will aim to do the following: (1) Understand and give examples of the basic components of reading instruction and how they are realized in classroom instruction. (2) Use a checklist to describe, analyze, and evaluate video cases studies of teaching. (3) Summarize and critique the contents of video case studies. (4) Thoughtfully compare their own learning experiences with those depicted in the videos and readings.						
評価方法	Participation and discussion 50% Reaction papers 50%						
評価基準	(1) <i>Participation and discussion</i> : Demonstrate accurate comprehension of the readings and videos as well as show ability to reflect on the contents by responding effectively to the instructor's questions orally or through in-class writing tasks (e.g., checklists, note-taking). (2) <i>Reaction papers</i> : Punctuality, completeness and detail in describing, analyzing, and evaluating the video cases studies of teaching. Ability to analyze and think critically about the contents of the videos and readings. Ability to use of key terminology appropriately. Ability to compare one's own learning experiences with those depicted in the videos.						
準備学修の時間	For each 90-minute class session of this course, an average of 180 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
1	Basic reading skills, phonics, oral language, fluency, vocabulary, comprehension	video, lecture, reading	Preview the textbook
2	Grades K-2: "Video 1: Becoming readers and writers"	video, lecture, Q&A, checklist & other tasks	Watch the video and read the handout.
3	Present Reaction Paper. Textbook reading: "Oral Language" p. 8,	Discussion, note-taking, Q&A	Write a reaction paper and do the textbook reading.
4	Grades K-2: "Video 2: Writer's journal" (level appropriate independent writing)	video, lecture, Q&A, checklist & other tasks	Watch the video and read the handout.
5	Present Reaction Paper. Textbook reading: "Phonological Awareness" p. 9	Discussion, note-taking, Q&A	Write a reaction paper and do the textbook reading.
6	Grades K-2: "Video 3: Building oral language"	video, lecture, Q&A, checklist & other tasks	Watch the video and read the handout.
7	Present Reaction Paper. Textbook reading: "Fluency" p. 11	Discussion, note-taking, Q&A	Write a reaction paper and do the textbook reading.
8	Grades K-2: "Video 4: Thalia learns the details" (letter sounds, inventive drawing)	video, lecture, Q&A, checklist & other tasks	Watch the video and read the handout.
9	Present Reaction Paper. Textbook reading: "Learning Vocab." p. 12	Discussion, note-taking, Q&A	Write a reaction paper and do the textbook reading.
10	Grades K-2: "Video 5: Assessment-driven instruction."	video, lecture, Q&A, checklist & other tasks	Watch the video and read the handout.

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
11	Present Reaction Paper. Textbook reading: “Prior Knowledge” p. 13	Discussion, note-taking, Q&A	Write a reaction paper and do the textbook reading.
12	Grades K-2: “Video 6: Cassandra becomes a fluent reader” (using visual clues)	video, lecture, Q&A, checklist & other tasks	Watch the video and read the handout.
13	Present Reaction Paper. Textbook reading: “Comprehension” p. 14	Discussion, note-taking, Q&A	Write a reaction paper and do the textbook reading.
14	Grades K-2: “Video 7: Connecting Skills to Text.”	video, lecture, Q&A, checklist & other tasks	Watch the video and read the handout.
15	Present Reaction Paper. Textbook reading: “Motivation . . .” p. 15	Discussion, note-taking, Q&A	Write a reaction paper and do the textbook reading.
16	Grades K-2: “Video 8: Promoting readers as leaders.” (managing classroom routines)	video, lecture, Q&A, checklist & other tasks	Watch the video and read the handout.
17	Present Reaction Paper. Textbook reading: “Integrated Reading” p. 16	Discussion, note-taking, Q&A	Write a reaction paper and do the textbook reading.
18	Grades K-2: “Video 9: Students make choices” (developing independence)	video, lecture, Q&A, checklist & other tasks	Watch the video and read the handout.
19	Present Reaction Paper. Textbook reading: “Assessment” p. 18	Discussion, note-taking, Q&A	Write a reaction paper and do the textbook reading.
20	Grades 3-5: “Workshop 1: Creating contexts for learning.”	video, lecture, Q&A, checklist & other tasks	Watch the video and read the handout.
21	Present Reaction Paper. Textbook reading: “Culture Factors” p. 19	Discussion, note-taking, Q&A	Write a reaction paper and do the textbook reading.
22	Grades 3-5: “Workshop 2: Fluency and word study” (teaching strategies)	video, lecture, Q&A, checklist & other tasks	Watch the video and read the handout.
23	Present Reaction Paper. Textbook reading: “The Role of Practice” p. 20	Discussion, note-taking, Q&A	Write a reaction paper and do the textbook reading.
24	Grades 3-5: “Workshop 3: Building comprehension.”	video, lecture, Q&A, checklist & other tasks	Watch the video and read the handout.
25	Present Reaction Paper. Textbook reading: “Conclusion” p. 21	Discussion, note-taking, Q&A	Write a reaction paper and do the textbook reading.
26	Grades 3-5: “Workshop 4: Writing” (reading and writing connection)	video, lecture, Q&A, checklist & other tasks	Watch the video and read the handout.
27	Present Reaction Paper. Textbook reading: “Conclusion” p. 21	Discussion, note-taking, Q&A	Write a reaction paper and do the textbook reading.
28	Grades 3-5: “Workshop 6: Teaching English language learners” [Skip Workshop 5.]	video, lecture, Q&A, checklist & other tasks	Watch the video and read the handout.
29	Present reaction paper. Discussion.	Discussion, note-taking, Q&A	Watch the video. Read the video handout.
30	Review and individual consultations.	lecture and one-to- consultations	Read handout on how to review for this course.

テキスト	Elizabeth Pang and others. <i>Teaching Reading</i> (UNESCO International Bureau of Education, PDF) or similar updated material. Videos and handouts from http://learner.org and other sources.
参考書	Keith Topping. <i>Tutoring</i> (UNESCO International Bureau of Education, PDF). Online.
その他 特記事項	(1) High-level English ability (about TOEIC 550+) and strong motivation are recommended. (2) Online videos may be unavailable sometimes so the contents above may change somewhat.

科目名	PHL210: 倫理学					担当教員	丹木 博一
開講期	秋	開講時限	火金1限	研究室	4214	オフィスアワー	P.16を参照のこと
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	連絡先	
キーワード	よく生きること、幸福、正義、善、人格、徳、規範、自由、義務、目的、責任、愛						
授業の概要	「他者とともによく生きるために何をなすべきか」という倫理学の根本問題を追究する。善悪の基準に関する倫理学の歴史を辿りながら、大切にしなければならない道徳的規範はどのようなものであるかを考察する。						
達成目標	「人生いかに生きるべきか」という問いを真剣に問い進め、自分の考えを築き上げることができる。						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・倫理学の歴史に登場する基本的な概念と学説を正しく把握し、それを表現できる。 ・行為選択の倫理的規範についての現代的な議論を理解し、自分の意見を表現できる。 ・倫理的な問いを提起し、その問いに関する自分自身の考えを説明できる。 						
評価方法	授業毎の課題（15%）、授業毎のリアクションペーパー（15%）、中間レポート（1,500字以上）（20%）、期末レポート（2,500字以上）（50%）						
評価基準	<p>▶授業毎の課題：事前に指示した通り課題を行い提出できたかどうか。▶リアクションペーパー：倫理学の基本的な概念と学説の意味を自分の言葉で正しく論述できるかどうか。</p> <p>▶中間レポート：倫理学説を一つ取り上げ、それが行為選択のための倫理規範をどのように考えているかを自分の言葉でわかりやすく説明した上で、自分の意見を論述展開できるかどうか。▶期末レポート：最低一冊は参考文献を読み、関心を寄せるテーマについて自分の言葉で問いを提起し、その問いに関するさまざまな考えを理解した上で、理由を挙げて自分の考えを論じることができるかどうか。</p>						
準備学修の時間	本科目の一回（90分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均180分が求められる。						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	よく生きることと行為の正しさへの問い	講義・DVD視聴 リアクションペーパー	教科書①pp.13-37を読んで要約する。
2	正しさの3つの視点：福祉・自由・美德	講義・DVD視聴 リアクションペーパー	教科書①pp.37-55を読んで要約する。
3	道徳的ジレンマ	ディスカッション リアクションペーパー	行為の正しさの尺度について自分の考えをまとめる。
4	ベンサム功利主義	講義・DVD視聴 リアクションペーパー	教科書①pp.56-75を読んで要約する。
5	ミルの功利主義	講義・DVD視聴 リアクションペーパー	教科書①pp.75-96を読んで要約する。
6	功利主義の意義と限界	ディスカッション リアクションペーパー	教科書②pp.23-55を読んで要約する。
7	ノージックのリバタリアニズム（自由至上主義）	講義・DVD視聴 リアクションペーパー	教科書①pp.97-110を読んで要約する。
8	所有権の範囲 ——臓器売買の是非	講義・DVD視聴 リアクションペーパー	教科書①pp.110-123を読んで要約する。
9	自由とそれ以外の道徳的価値の関係	ディスカッション リアクションペーパー	教科書②pp.88-115を読んで要約する。
10	市場と道徳	講義・DVD視聴 リアクションペーパー	教科書①pp.124-148を読んで要約する。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
11	契約の有効性の根拠 ——代理母出産の是非	講義・DVD視聴 リアクションペーパー	教科書①pp.148-166を読んで要約する。
12	市場原理の問題点と生存権	ディスカッション リアクションペーパー	教科書②pp.150-184を読んで要約する。
13	カントの義務論	講義・DVD視聴 リアクションペーパー	教科書①pp.167-198を読んで要約する。
14	道徳法則の普遍妥当性 ——嘘をつくことの是非	講義・DVD視聴 リアクションペーパー	教科書①pp.198-223を読んで要約する。
15	行為の動機と結果	ディスカッション リアクションペーパー	教科書②pp.56-87を読んで要約する。
16	ロールズの正義論	講義・DVD視聴 リアクションペーパー	中間レポート提出・教科書①pp.224-246を要約する。
17	平等という理念	講義・DVD視聴 リアクションペーパー	教科書①pp.246-263を読んで要約する。
18	格差原理についての問い	ディスカッション リアクションペーパー	教科書②pp.116-149を読んで要約する。
19	アフターマティヴ・アクション	講義・DVD視聴 リアクションペーパー	教科書①pp.264-278を読んで要約する。
20	正義と美德——入学許可競売の是非	講義・DVD視聴 リアクションペーパー	教科書①pp.278-289を読んで要約する。
21	多様性確保と分配の正義	ディスカッション リアクションペーパー	教科書②pp.217-244を読んで要約する。
22	アリストテレスの目的論	講義・DVD視聴 リアクションペーパー	教科書①pp.290-314を読んで要約する。
23	善き生の本質 ——奴隷制の是非	講義・DVD視聴 リアクションペーパー	教科書①pp.314-327を読んで要約する。
24	行為の目的とケイパビリティアプローチ	ディスカッション リアクションペーパー	教科書②pp.185-216を読んで要約する。
25	行為の責任	講義・DVD視聴 リアクションペーパー	教科書①pp.328-354を読んで要約する。
26	マッキンタイアのコミュニタリアニズム (共同体主義)	講義・DVD視聴 リアクションペーパー	教科書①pp.354-381を読んで要約する。
27	共同体主義に対する評価	ディスカッション リアクションペーパー	期末レポート提出
28	正義と共通善	講義・DVD視聴 リアクションペーパー	教科書①pp.382-394を読んで要約する。
29	共通善に基づく政治 ——同性婚の是非	講義・DVD視聴 リアクションペーパー	教科書①pp.395-419を読んで要約する。
30	期末レポートに対するコメント まとめ(他者とともによく生きること)	講義・ディスカッション リアクションペーパー	講義を通して学んだ最も重要なことをまとめる。

テキスト	①マイケル・サンデル『これからの「正義」の話をしよう』(ハヤカワ文庫) ②馬淵浩二『貧困の倫理学』(平凡社新書)
参考書	加藤尚武『現代倫理学入門』(講談社学術文庫) 伊勢田哲治『動物からの倫理学入門』(名古屋大学出版会)
その他 特記事項	主体的な関心をもって授業に臨んで欲しい。分からない点や疑問がある場合は、どんどん質問してもらいたい。

科目名	SOC301: 平和と開発					担当教員	Thomas
開講期	春	開講時限	火金3限	研究室	4211	オフィスアワー	P.16を参照のこと
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	連絡先	
キーワード	peace, development, poverty eradication, universal education, gender equality, global partnership						
授業の概要	This course deals in detail with the “Sustainable Development Goals (SDGs)” initiated by the United Nations Organization in the year 2015. It will cover the seventeen SDGs and its one hundred sixty nine targets and how they are built upon the “Millennium Development Goals” which ended in 2015. As part of assignments, students will be required to choose one of the seventeen goals and study how it is being implemented in one of the developing countries.						
達成目標	The general goals of this course are (1) to study the tasks left behind by the MDGs after fifteen years of hard labor to eradicate extreme poverty and (2) to learn the relevance of SDGs in the next fifteen years of the world. It also aims (3) to research on particular issues in different developing countries especially Africa and Asia. Finally, we intend to know the interrelatedness of development and peace.						
到達目標	<p>By the end of this course students will</p> <ul style="list-style-type: none"> • acquire a deeper understanding of the content and importance of SDGs and MDGs • increase their awareness of the multitude of critical issues in developing countries • improve their ability to do research on issues related to peace and development • learn to cooperate and contribute to group discussion and active class participation 						
評価方法	Mini tests (25%), Presentation (25%), Class participation (25%), Final Report (25%)						
評価基準	To be distributed at the first class.						
準備学修の時間	For each 90-minute class session of this course, an average of 180 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Introduction to the course, class policies, role of UN	lecture, reading, discussion, Q&A	read http://www.un.org/en/index.html
2	Developed countries and developing countries, OCED, G8, G20, BRICS	lecture, reading, discussion, Q&A	read handouts, prepare for discussion
3	Least developed countries, African Union, African Development Foundation (ADF)	lecture, reading, discussion, Q&A	read handouts, prepare for discussion
4	Introduction to development, growth and peace	lecture, mini test, discussion, Q&A	read handouts, prepare for discussion and mini test
5	Economic development: infrastructure, wage, saving, investment, GNP, GDP, Per capita	lecture, reading, discussion, Q&A	read handouts, prepare for discussion
6	Human development: education, health, access to income, gender equality	lecture, reading, discussion, Q&A	read handouts, prepare for discussion
7	Participatory development / Social development: freedom, democracy, H. rights	lecture, reading, discussion, Q&A	read handouts, prepare for discussion
8	Introduction to Millennium Development Goals (MDGs)	lecture, reading, video, discussion	read handouts, prepare for discussion and mini test
9	Accomplishments of Millennium Development Goals	lecture, reading, video, discussion	read handouts, prepare for discussion
10	Introduction to Sustainable Development Goals (SDGs)	lecture, reading, video, discussion	read handouts, prepare for discussion

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
11	Our world today, the agenda of SDGs	lecture, reading, discussion, Q&A	read handouts, prepare for discussion
12	Introduction to Sustainable Development Goals Report 2016	lecture, mini test, Q&A discussion, presentation	read handouts, prepare for discussion and mini test
13	Goal 1: End poverty in all its forms everywhere	lecture, reading, discussion, presentation	read handouts, prepare for discussion
14	Goal 2: End hunger, achieve food security and improved nutrition	lecture, mini test, Q&A discussion, presentation	read handouts, prepare for discussion and mini test
15	Goal 3: Ensure healthy lives and promote well-being for all at all ages	lecture, reading, Q&A discussion, presentation	read handouts, prepare for discussion
16	Goal 4: Ensure inclusive and equitable quality education and promote lifelong learning for all	lecture, mini test, Q&A discussion, presentation	read handouts, prepare for discussion and mini test
17	Goal 5: Achieve gender equality and empower all women and girls	lecture, reading, Q&A discussion, presentation	read handouts, prepare for discussion
18	Goal 6: Ensure availability and sustainable management of water and sanitation for all	lecture, mini test, Q&A discussion, presentation	read handouts, prepare for discussion and mini test
19	Goal 7: Ensure access to affordable, reliable, sustainable and modern energy for all	lecture, reading, Q&A discussion, presentation	read handouts, prepare for discussion
20	Goal 8: Promote sustained, inclusive and sustainable economic growth for all	lecture, mini test, Q&A discussion, presentation	read handouts, prepare for discussion and mini test
21	Goal 9: Build resilient infrastructure, promote inclusive and sustainable industrialization	lecture, reading, Q&A discussion, presentation	read handouts, prepare for discussion
22	Goal 10: Reduce inequality within and among countries	lecture, mini test, Q&A discussion, presentation	read handouts, prepare for discussion and mini test
23	Goal 11: Make cities and human settlements inclusive, safe, resilient and sustainable	lecture, reading, Q&A discussion, presentation	read handouts, prepare for discussion
24	Goal 12: Ensure sustainable construction and production patterns	lecture, mini test, Q&A discussion, presentation	read handouts, prepare for discussion and mini test
25	Goal 13: Take urgent action to combat climate change and its impacts	lecture, reading, Q&A discussion, presentation	read handouts, prepare for discussion
26	Goal 14: Conserve and sustainably use the oceans, seas and marine resources	lecture, mini test, Q&A discussion, presentation	read handouts, prepare for discussion and mini test
27	Goal 15: Protect, restore and promote sustainable use of terrestrial ecosystems	lecture, reading, Q&A discussion, presentation	read handouts, prepare for discussion
28	Goal 16: Promote peaceful and inclusive societies for sustainable development	lecture, mini test, Q&A discussion, presentation	read handouts, prepare for discussion and mini test
29	Goal 17: Strengthen the global partnership for sustainable development	lecture, reading, Q&A discussion, presentation	read handouts, prepare for discussion
30	Conclusion	lecture, reading, Q&A discussion	submission of the final report

テキスト	Materials adapted from <i>The 2030 Agenda for Sustainable Development</i> and <i>The Sustainable Development Goals Report 2016</i> will be distributed in class.
参考書	<i>The Millenium Development Goals Report 2015</i> http://www.un.org/millenniumgoals/2015_MDG_Report/pdf/MDG%202015%20rev%20(July%201).pdf
その他 特記事項	Since this course is offered entirely in English, students are expected to read the handouts beforehand, check the meaning of new vocabulary, and prepare for discussion in every class.

科目名	LIT323: イギリスの文化と文学					担当教員	山本 浩
開講期	春	開講時限	月木5限	研究室	4212	オフィスアワー	P.16を参照のこと
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	連絡先	
キーワード	イギリスの4つの国、英語、階級、教育、キリスト教、芸術、メディア、食文化						
授業の概要	イギリス（連合王国）を構成している England, Scotland, Wales, Northern Ireland とその民族、England の言語である英語の歴史と特徴、イギリス社会の中で階級がもつ意味、イギリスの初等・中等教育と高等教育の歴史と現在、イギリスのキリスト教の歴史、イギリスの芸術（とくに美術と演劇）、イギリスの新聞と放送の特徴、イギリスの食事と紅茶文化について学び、同時に、それに関連した文学作品を読む。						
達成目標	イギリスと英語を理解するために、イギリスの文化のいろいろな面について学び、イギリスがどのような国であり、英語がどのような言語であるかが分かるようになることを目的とする。						
到達目標	イギリスの4つの国とその民族、英語の成り立ち・発展・現状、イギリス社会の階級、イギリスの教育、イギリスのキリスト教、イギリスの芸術、イギリスのメディア、イギリスの食文化について十分な理解があり、また、イギリス文学の中でそれらがどのように扱われているかを作品を通して理解できるようになっていることを到達目標とする。						
評価方法	小テスト 50% 小論文 30% 授業への積極参加 20%						
評価基準	小テスト：授業で取り上げた4つの国、英語の歴史、階級、教育、キリスト教、芸術、メディアなどの基本的な事柄をよく理解しているかを見る 小論文：課題に沿った内容であるか、よく考えられた議論を展開しているかを見る 授業への積極参加：授業での質問・発言・意見表明などを積極的に行なったかを見る						
準備学修の時間	本科目の一回（90分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均180分が求められる。						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	イギリスの4つの国と民族（古代～中世）	パワーポイントを使用した講義	事前にパワーポイントのファイルを予習する
2	イギリスの4つの国と民族（近代～現代）	パワーポイントを使用した講義	事前にパワーポイントのファイルを予習する
3	イギリスの4つの国についての評論文	“Being British”の講読と研究	事前に“Being British”を読む
4	英語の歩み（Old English から Middle English へ）	パワーポイントを使用した講義	事前にパワーポイントのファイルを予習する
5	英語の歩み（Middle English から Modern English へ）	パワーポイントを使用した講義	事前にパワーポイントのファイルを予習する
6	OE、ME、ModE の実例	OE、ME、ModE の「主の祈り」を読む	事前に「主の祈り」（日本語および現代英語）を読む
7	小テスト（45分）と1回～6回の授業の復習（45分）	テスト実施と復習	小テストの準備学習をする
8	小テストのふりかえり	小テストの問題に皆で解答する	間違えた箇所、理解できていなかったところを復習
9	イギリス社会の階級（階級とは何か）	パワーポイントを使用した講義	事前にパワーポイントのファイルを予習する
10	イギリス社会の階級（階級と英語）	パワーポイントを使用した講義	事前にパワーポイントのファイルを予習する

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
11	D. H. Lawrence, <i>Sons and Lovers</i> に見られる階級	<i>Sons and Lovers</i> の抜粋の講読と研究	事前に <i>Sons and Lovers</i> の翻訳を読む
12	イギリスの教育(初等・中等教育)	パワーポイントを使用した講義	事前にパワーポイントのファイルを予習する
13	イギリスの教育(高等教育)	パワーポイントを使用した講義	事前にパワーポイントのファイルを予習する
14	Roald Dahl, <i>Boy</i> に見られるイギリスの教育	Roald Dahl, <i>Boy</i> の講読と研究	事前に <i>Boy</i> の翻訳を読む
15	小テスト(45分)と9回~14回の授業の復習(45分)	テスト実施と復習	小テストの準備学習をする
16	小テストのふりかえり	小テストの問題に皆で解答する	間違えた箇所、理解できていなかったところを復習
17	イギリスのキリスト教(古代~中世)	パワーポイントを使用した講義	事前にパワーポイントのファイルを予習する
18	イギリスのキリスト教(宗教改革~現代)	パワーポイントを使用した講義	事前にパワーポイントのファイルを予習する
19	Graham Greene, <i>The End of the Affair</i> に見られるキリスト教	<i>The End of the Affair</i> の講読と研究	事前に <i>The End of the Affair</i> の翻訳を読む
20	イギリスの芸術(美術)	パワーポイントを使用した講義	事前にパワーポイントのファイルを予習する
21	イギリスの芸術(演劇)	パワーポイントを使用した講義	事前にパワーポイントのファイルを予習する
22	イギリス演劇の一例として Harold Pinter, <i>Family Voices</i> を読む	<i>Family Voices</i> の講読と研究	事前に <i>Family Voices</i> の翻訳を読む
23	小テスト(45分)と17回~22回の授業の復習(45分)	テスト実施と復習	小テストの準備学習をする
24	小テストのふりかえり	小テストの問題に皆で解答する	間違えた箇所、理解できていなかったところを復習
25	イギリスのメディア(新聞)	パワーポイントを使用した講義	事前にパワーポイントのファイルを予習する
26	イギリスのメディア(ラジオ・TV)	パワーポイントを使用した講義	事前にパワーポイントのファイルを予習する
27	イギリスの食文化	パワーポイントを使用した講義	事前にパワーポイントのファイルを予習する
28	George Orwell, “A Nice Cup of Tea” を読む	“A Nice Cup of Tea” の講読と研究	事前に “A Nice Cup of Tea” の翻訳を読む
29	小テスト(45分)と小テストのふりかえり	テスト実施、終了後、皆で解答する	小テストの準備学習、そして復習
30	小論文の講評	小論文を返却し講評する	返却された小論文を読み直す
テキスト	とくに使用しない。事前にパワーポイントのファイルをダウンロードして、授業前によく読んでおく。授業には、ファイルをプリントしたものを持参する。		
参考書	イギリス文化辞典編集委員会、川成洋(編集)『イギリス文化事典』(丸善出版)		

科目名	LIT310: 英詩研究					担当教員	飯田 純也
開講期	秋	開講時限	火金1限	研究室	4216	オフィスアワー	P.16を参照のこと
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	連絡先	
キーワード	詩、詩人、モラル、ダンテ、煉獄、死者の声、戦争、平和、内戦、虐殺、イデオロギー						
授業の概要	詩は人類が学んだ教訓を表現する。まず英国の詩の伝統を踏まえた上で、イタリアの詩人ダンテの代表作『神曲』を概観する。次に、ダンテから影響を受けた現代詩人4人の作品を読む。最後に、極限状況で詩を書いた世界の詩人たちの詩を英語訳で読む。グループワークで、彼らの詩が書かれた背景を調べ、次に各自で彼らの詩を解釈し、両者を合わせたものを期末レポート（8,000字）として提出してもらう。						
達成目標	授業の目標は、差別、迫害、暴力、戦争という時代背景を批判的に分析しながら、詩のテキストの中に忘れてはならない教訓を読み取り、自分のことばで表現する語学力と思考力の獲得である。						
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 語学力を駆使して英語の詩のテキストを読むことができる 2. 詩人が描く世界を自分の感性を基に理解することができる 3. 詩人の感性を通して、歴史、社会、人間を批判的に見ることができる 4. 人文科学、社会科学を学ぶ動機を得ることができる 5. 絶えず変化する時代の中で変わらない価値を信じ続けることができる 						
評価方法	1. 小論文の提出は3回で計30% 2. グループ発表は10% 3. 期末レポートは60%						
評価基準	詳細は初回授業時に説明する。						
準備学修の時間	本科目の一回（90分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均180分が求められる。						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	授業紹介 <i>In Her Shoes</i> (2005 movie)	講義、DVD視聴	課題DVD資料の準備
2	詩論（1）Poems by John Donne, William Carlos Williams, Gary Snyder, etc.	講義、質疑応答	課題資料の予習、要約をノート
3	詩論（2）Poems by Andrew Marvell, Wallace Stevens, Elizabeth Bishop, etc.	講義、質疑応答	課題資料の予習、要約をノート
4	詩論（3）Poems by William Shakespeare, Robert Browning, Sylvia Plath, etc.	講義、質疑応答	課題資料の予習、要約をノート
5	詩論（4） 総括	質疑応答、グループ 討論	小論文 no. 1 の準備（提出は次回授業時）
6	詩人論ダンテ（1） <i>The Divine Comedy</i>	講義、質疑応答、小論文提出	課題資料の予習、要約をノート
7	詩人論ダンテ（2） <i>Inferno</i>	講義、質疑応答	課題資料の予習、要約をノート
8	詩人論ダンテ（3） <i>Purgatorio</i>	講義、質疑応答	課題資料の予習、要約をノート
9	詩人論ダンテ（4） <i>Paradiso</i>	講義、質疑応答	課題資料の予習、要約をノート
10	詩人論ダンテ（5） 総括	質疑応答、グループ 討論	小論文 no. 2 の準備（提出は次回授業時）
11	現代詩人論（1）W. B. Yeats: “The Lake Isle of Innisfree” “Sailing to Byzantium” etc.	講義、質疑応答、小論文提出	課題資料の予習、要約をノート

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
12	現代詩人論(2) W. B. Yeats: “Among School Children” “Cuchulain Comforted” etc.	講義、質疑応答	課題資料の予習、要約をノート
13	現代詩人論(3) Ezra Pound: Poems from <i>Personae</i>	講義、質疑応答	課題資料の予習、要約をノート
14	現代詩人論(4) Ezra Pound: Excerpts from <i>Cantos</i>	講義、質疑応答	課題資料の予習、要約をノート
15	現代詩人論(5) T. S. Eliot: “The Love Song of J. Alfred Prufrock” etc.	講義、質疑応答	課題資料の予習、要約をノート
16	現代詩人論(6) T. S. Eliot: “The Waste Land”	講義、質疑応答	課題資料の予習、要約をノート
17	現代詩人論(7) Seamus Heaney: Poems from <i>Field Work</i>	講義、質疑応答	課題資料の予習、要約をノート
18	現代詩人論(8) Seamus Heaney: Poems from <i>Station Island</i>	講義、質疑応答	課題資料の予習、要約をノート
19	現代詩人論(9) 総括	質疑応答、グループ 討論	小論文 no. 3 の準備(提出は次回授業時)
20	詩集 <i>Against Forgetting</i> の詩を読む(1) The Holocaust, The Shoah 問題提起	グループワーク、小 論文提出	グループワークの準備
21	詩集 <i>Against Forgetting</i> の詩を読む(2) The Holocaust, The Shoah リサーチ	グループワーク	グループワークの準備
22	詩集 <i>Against Forgetting</i> の詩を読む(3) War in the Middle East 問題提起	グループワーク	グループワークの準備
23	詩集 <i>Against Forgetting</i> の詩を読む(4) War in the Middle East リサーチ	グループワーク	グループワークの準備
24	詩集 <i>Against Forgetting</i> の詩を読む(5) War in Korea and Vietnam 問題提起	グループワーク	グループワークの準備
25	詩集 <i>Against Forgetting</i> の詩を読む(6) War in Korea and Vietnam リサーチ	グループワーク	グループワークの準備
26	詩集 <i>Against Forgetting</i> の詩を読む(7) World War II (1939-1945) 問題提起	グループワーク	グループワークの準備
27	詩集 <i>Against Forgetting</i> の詩を読む(8) World War II (1939-1945) リサーチ	グループワーク	グループワークの準備
28	詩集 <i>Against Forgetting</i> の詩を読む(9) 学生発表	学生発表(各グルー プ20分)	発表の準備、期末レポート の準備
29	詩集 <i>Against Forgetting</i> の詩を読む(10) 総括	期末レポート提出	期末レポートの準備
30	総評と振り返り	講評、学修成果のま とめ	学修成果の振り返り

テキスト	Carolyn Forché (ed.). <i>Against Forgetting: Twentieth-Century Poetry of Witness</i> (W. W. Norton). 詩のテキスト及び資料を随時配布する
参考書	Dante Alighieri. <i>Divine Comedy</i> (Chartwell Books).

科目名	LIT322: 映画と文学					担当教員	飯田 純也
開講期	秋	開講時限	火金 4 限	研究室	4216	オフィスアワー	P.16 を参照のこと
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2 年	連絡先	
キーワード	歴史、教訓、社会、戦争、反戦、虐殺、差別、SF、ユートピア、プロパガンダ、ゲーム						
授業の概要	映画と文学を物語として捉え、映画作品において、われわれの世界がどのように物語られているのか探求する。名作とされるものを多く取り上げ、作品の内容を理解する語学力、作品が取り上げる問題を分析、批判、議論する思考力を身につける。						
達成目標	授業では毎回、映画作品を取り上げ、物語の内容を理解する語学力と、物語が描く「世界」「社会」「人間」を分析的、批判的、論理的に説明する思考力の獲得を目標とする。						
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 映画を物語として分析、批判、評価することができる 2. 映画が描く現代の問題や課題を理解することができる 3. 映画で扱われている諸問題を人文科学、社会科学の視点から考えることができる 4. 問題意識をもって映画を見る習慣ができる 5. 映画を語学教材として活用する習慣ができる 						
評価方法	1. 授業参加 (20%) は毎回のシャトルカードと任意回の口頭発表、2. 語学力 (40%) は毎回のシャトルカードの小テストと質問の回数と内容、3. 思考力 (40%) は提出 5 回の小論文 (日本語で 1,600 字以上) で評価する。						
評価基準	詳細は初回授業時に説明する。						
準備学修の時間	本科目の一回 (90 分) の授業のための授業外学修 (予習・復習) 時間は、平均 180 分が求められる。						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1	Introduction to Film and Literature	講義、課題 DVD 視聴 リスト配布	課題リストを基に DVD の 入手先を各自検討
2	<i>Hugo</i> (2011) and <i>Cinema Paradiso</i> (1988)	講義、DVD 視聴、ペ アワーク	課題 DVD を視聴、ノート の作成 (筋、人物、意見)
3	Charlie Chaplin (<i>The Kid</i> , <i>The Gold Rush</i> , <i>Modern Times</i>)	講義、DVD 視聴、ペ アワーク	課題 DVD を視聴、ノート の作成 (筋、人物、意見)
4	<i>The Great Dictator</i> (1940)	講義、DVD 視聴、ペ アワーク	課題 DVD を視聴、ノート の作成 (筋、人物、感想)
5	Discussion: <i>The Great Dictator</i>	発表、ディスカッシ ョン	発表準備、小論文 no. 1 の 準備 (提出は次回授業時)
6	H. G. Wells and SF films: <i>The Time Machine</i> , <i>The Invisible Man</i>	講義、DVD 視聴、ペ アワーク	課題 DVD を視聴、ノート の作成 (筋、人物、意見)
7	Discussion: <i>The War of the Worlds</i> (2005)	発表、ディスカッシ ョン	課題 DVD を視聴、ノート の作成、発表準備
8	Propaganda (Sergei Eisenstein, D. W. Griffith, Leni Riefenstahl, Edward Bernays)	講義、DVD 視聴、ペ アワーク	課題 DVD を視聴、ノート の作成 (筋、人物、意見)
9	Discussion: propaganda and propaganda films: <i>Welcome to Sarajevo</i> (1998)	発表、ディスカッシ ョン	発表準備、小論文 no. 2 の 準備 (提出は次回授業時)
10	Drama (<i>Rain Man</i> , <i>What's Eating Gilbert Grape</i> , <i>I Am Sam</i> , etc.)	講義、DVD 視聴、ペ アワーク	課題 DVD を視聴、ノート の作成 (筋、人物、意見)
11	<i>The Theory of Everything</i> (2014)	講義、DVD 視聴、ペ アワーク	課題 DVD を視聴、ノート の作成 (筋、人物、意見)

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
12	Discussion: <i>The Theory of Everything</i>	発表、ディスカッション	課題 DVD を視聴、ノートの作成、発表準備
13	Epic (<i>War and Peace</i> , <i>Doctor Zhivago</i> , <i>Reds</i> , <i>Legends of the Fall</i> , etc.)	講義、DVD 視聴、ペアワーク	課題 DVD を視聴、ノートの作成(筋、人物、意見)
14	<i>Les Misérables</i> (2012)	講義、DVD 視聴、ペアワーク	課題 DVD を視聴、ノートの作成(筋、人物、意見)
15	Discussion: <i>Les Misérables</i>	発表、ディスカッション	発表準備、小論文 no. 3 の準備(提出は次回授業時)
16	Dystopia literature (<i>Metropolis</i> , <i>Nineteen Eighty-Four</i> , etc.)	講義、DVD 視聴、ペアワーク	課題 DVD を視聴、ノートの作成(筋、人物、意見)
17	<i>The Hunger Games</i> (2012)	講義、DVD 視聴、ペアワーク	課題 DVD を視聴、ノートの作成(筋、人物、意見)
18	Discussion: <i>The Hunger Games</i>	発表、ディスカッション	課題 DVD を視聴、ノートの作成、発表準備
19	Documentary (<i>The Nazis</i> , <i>The War of the Century</i> , etc.)	講義、DVD 視聴、ペアワーク	課題 DVD を視聴、ノートの作成(筋、人物、意見)
20	<i>The Act of Killing</i> (2012)	講義、DVD 視聴、ペアワーク	課題 DVD を視聴、ノートの作成(筋、人物、意見)
21	Discussion: <i>The Act of Killing</i>	発表、ディスカッション	課題 DVD を視聴、ノートの作成、発表準備
22	<i>Thirteen Days</i> (2000)	講義、DVD 視聴、ペアワーク	課題 DVD を視聴、ノートの作成(筋、人物、意見)
23	Discussion: <i>Thirteen Days</i>	発表、ディスカッション	発表準備、小論文 no. 4 の準備(提出は次回授業時)
24	Introduction to independent research	講義、DVD 視聴、ペアワーク	課題 DVD を視聴、ノートの作成(筋、人物、意見)
25	Discussion: <i>The Color Purple</i> (1985); <i>Amistad</i> (1997), <i>12 Years a Slave</i> (2013)	講義、発表、ディスカッション	課題 DVD を視聴、ノートの作成、発表準備
26	Discussion: Harry Potter and / or Star Wars series	講義、発表、ディスカッション	課題 DVD を視聴、ノートの作成、発表準備
27	Discussion: Japanese films	講義、発表、ディスカッション	課題 DVD を視聴、ノートの作成、発表準備
28	Discussion: Studio Ghibli films	講義、発表、ディスカッション	課題 DVD を視聴、ノートの作成、発表準備
29	Discussion: Disney vs. Studio Ghibli	講義、発表、ディスカッション	発表準備、小論文 no. 5 の準備(提出は次回授業時)
30	Reflection and discussion	ペアワーク、学修成果のまとめ	学修成果の振り返り

テキスト	テキストは使用しません。授業ごとに資料を用意して配布します。
参考書	Robert Sklar. <i>A World History of Film</i> (2003); Jill Nelmes. <i>Introduction to Film Studies</i> (2011); Edward Bernays. <i>Propaganda</i> (2005); 藤崎康『戦争の映画史』(2008)

科目名	ENG350: 翻訳演習					担当教員	永野 良博
開講期	秋	開講時限	月木 5 限	研究室	4218	オフィスアワー	P.16 を参照のこと
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2 年	連絡先	
キーワード	文学言語の翻訳、英文和訳、語彙、文法、構文、現代アメリカ小説、アメリカ文化						
授業の概要	様々な文体で書かれた、主に現代アメリカの小説を読み、それに相応しい文章で日本語訳してゆく。毎回の授業で、個々の学生が作る訳文の発表があり、それを基に意見交換をしながら共同で訳文を作成する。同時に教員の訳文、翻訳家の訳文との比較、検討を行う。また小説を翻訳するため、文学的主題の理解も深める必要がある。哲学的な瞑想、戦争の記述、家族・親子の問題、階級など多様な主題を扱う文章を検討してゆく。						
達成目標	主に現代アメリカ小説からの抜粋を読み、翻訳の技術を高めてゆく。多くの文学作品に触れ、文学への理解を深めることが出来るようにする。文章の背後にある作家の世界観、文化的・歴史的背景への理解も深める。比喩的な言語や、重層的な意味を持つ言語を、背後にある思想を的確に読み取りながら、翻訳をする技術を高める。						
到達目標	学期前半では単語、文法、構文理解等のレベルから学習し始めて英文和訳の基礎を固める。その作業を継続しながら、少しずつ日本語らしい文章で翻訳が出来るようになれば望ましい。また訳文の発表と質疑応答を通して、英文理解を深め、翻訳の可能性を広げる。						
評価方法	授業参加（20%）、発表（40%）、テスト（40%）						
評価基準	授業参加では、個々の学生が事前に辞書を引き、独自の訳文を口頭で述べる事が出来ること。発表では正確で独自の訳文を作成し、それに関する的確な語・文法の注等を加えて原稿を作り、質疑応答を行う。質疑応答では、正確な英語理解に基づいた受け答えが出来る事が重要。テストでは、正確で上質な日本語を使った訳文の作成が求められる。						
準備学修の時間	本科目の一回（90分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 180 分が求められる。						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	授業紹介、Paul Auster による作品 <i>Ghosts</i> 導入	講義と意見交換	テキスト第一章を読む
2	Auster, <i>Ghosts</i> . 語彙・文法学習、訳文作成（文学的主題：生の在り方）	講義と意見交換	テキスト第一章を読む
3	Auster, <i>Ghosts</i> . 語彙・文法学習、訳文作成（存在と自己同一性）	講義と意見交換	テキスト第一章を読む
4	Auster, <i>Ghosts</i> . 語彙・文法学習、訳文作成（不確定性と因果関係）	発表と意見交換	テキスト第一章を読む、訳文作成
5	Auster, <i>Ghosts</i> . 語彙・文法学習、訳文作成（自己とその分身）	発表と意見交換	テキスト第一章を読む、訳文作成
6	Auster, <i>Ghosts</i> . 語彙・文法学習、訳文作成（他者との関わりと自由）	発表と意見交換	テキスト第一章を読む、訳文作成
7	Auster, <i>Ghosts</i> . 語彙・文法学習、訳文作成（孤独と自己同一性の崩壊）	発表と意見交換	テキスト第一章を読む、訳文作成
8	Auster, <i>Ghosts</i> . 語彙・文法学習、訳文作成（他者への不信感）	発表と意見交換	テキスト第一章を読む、訳文作成
9	Auster, <i>Ghosts</i> . 語彙・文法学習、訳文作成（他者への不信感と陰謀）	発表と意見交換	テキスト第一章を読む、訳文作成
10	Auster, <i>Ghosts</i> . 語彙・文法学習、訳文作成（名前の恣意性）	発表と意見交換	テキスト第一章を読む、訳文作成

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
11	Auster, <i>Ghosts</i> . 語彙・文法学習、訳文作成(他者による自己の承認)	発表と意見交換	テキスト第一章を読む、訳文作成
12	Auster, <i>Ghosts</i> . 語彙・文法学習、訳文作成(他者との共存)	発表と意見交換	テキスト第一章を読む、訳文作成
13	Tim O'Brien, <i>The Things They Carried</i> . 語彙・文法学習、訳文作成	発表と意見交換	テキスト第二章を読む、訳文作成
14	O'Brien, <i>The Things They Carried</i> . 語彙・文法学習、訳文作成(戦争と道徳)	発表と意見交換	テキスト第二章を読む、訳文作成
15	まとめ、テスト	発表と意見交換及びテスト	テキスト第二章を読む、訳文作成、テスト準備
16	O'Brien, <i>The Things They Carried</i> . 語彙・文法学習、訳文作成(善と悪)	発表と意見交換	テキスト第二章を読む、訳文作成
17	O'Brien, <i>The Things They Carried</i> . 語彙・文法学習、訳文作成(悪への忠誠)	発表と意見交換	テキスト第二章を読む、訳文作成
18	O'Brien, <i>The Things...</i> 語彙・文法学習、訳文作成、テストのフィードバック	発表と意見交換	テキスト第二章を読む、訳文作成
19	O'Brien, <i>The Things They Carried</i> . 語彙・文法学習、訳文作成(友人の死)	発表と意見交換	テキスト第二章を読む、訳文作成
20	O'Brien, <i>The Things They Carried</i> . 語彙・文法学習、訳文作成(物語と自己)	発表と意見交換	テキスト第二章を読む、訳文作成
21	O'Brien, <i>The Things They Carried</i> . 語彙・文法学習、訳文作成(物語と真実)	発表と意見交換	テキスト第二章を読む、訳文作成
22	J.D. Salinger, <i>The Catcher in the Rye</i> 語彙・文法学習、訳文(虚偽の世界)	発表と意見交換	テキスト pp.114-118 を読む、訳文作成
23	Kurt Vonnegut, <i>Slaughterhouse-Five</i> 語彙・文法学習、訳文(戦争、トラウマ)	発表と意見交換	テキスト pp.119-124 を読む、訳文作成
24	Raymond Carver, "What We Talk..." 語彙・文法学習、訳文(夫婦の破綻)	発表と意見交換	テキスト pp.125-130 を読む、訳文作成
25	John Irving, <i>The Hotel New Hampshire</i> 語彙・文法学習、訳文作成(性、家族)	発表と意見交換	テキスト pp.131-137 を読む、訳文作成
26	Margaret Atwood, <i>The Handmaid's Tale</i> 語彙・文法学習、訳文作成(性差)	発表と意見交換	テキスト pp.138-143 を読む、訳文作成
27	Kazuo Ishiguro, <i>The Remains of the Day</i> 語彙・文法学習、訳文作成(階級)	発表と意見交換	テキスト pp.144-148 を読む、訳文作成
28	その他の作品読解、テスト	発表と意見交換	指定された文の読解、訳文作成、テスト準備
29	その他の作品読解	発表と意見交換	指定された文の読解、訳文作成
30	まとめ、テストへのフィードバック	発表と意見交換	指定された文の読解、訳文作成

テキスト	上岡伸夫『現代英米小説で英語を学ぼう <i>Read and Translate</i> 』(研究社)
参考書	ポール・オースター『幽霊たち』(新潮文庫) ティム・オブライエン『本当の戦争の話をしよう』(文春文庫)

科目名	LNG310: 社会言語学					担当教員	神谷 雅仁
開講期	秋	開講時限	月木3限	研究室	4215	オフィスアワー	P.16を参照のこと
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	連絡先	
キーワード	言語コミュニティ、地域方言、社会方言、多言語主義、Style shift、Politeness、文化						
授業の概要	本講は言語学の中でも社会言語学と呼ばれる分野の入門編という位置付けのもと、言語をそれが使われる社会との関係から考察していく。各単元の学習内容は言語選択やポライトネス理論、社会方言といった社会言語学の中でも中核を成す内容を中心に構成される。授業はテキストおよび関連する内容についてのハンドアウトを中心に講義形式で進められ、理解促進のため必ず單元ごとに既習内容のレビューを行う。						
達成目標	本講で対象となる言語社会は学生にとっての母語である日本語社会、および様々な英語圏の国・地域で使用される英語のコミュニティが中心となるが、ヨーロッパやアジアなど、その他の地域に関する言語状況などについても概観する。そのため、学生は人が社会の中でどのように言葉を選択し、それを使用しているかについて幅広い、グローバルな視点に立って考えることができるようになる。						
到達目標	上記の達成目標をもとに、本講では学生が言語使用や言語バリエーションに関する様々な概念や理論に触れ、それを理解することで、自らが日々の生活の中でどのように言葉を使い生活しているのか、自分の母語および学習言語がどのような状況に置かれているのか、また自分の言語（特に母語）がどのように自らのアイデンティティを形成しているのかなどについて、客観的に認識できるようになる。						
評価方法	▶理解度テスト 1 (35%)、▶理解度テスト 2 (35%)、▶Research assignment (20%)、▶授業参加度/提出物 (10%)						
評価基準	▶理解度テスト1：学期前半部分の学修内容について、その理解と定着度を確認する。 ▶理解度テスト2：学期後半部分の学修内容について、その理解と定着度を確認する。 ▶Research assignment：学期を通して学ぶいくつかのテーマには、それをさらに学生が自ら調べ、まとめるという課題が課せられる。この課題は(1)指示通りに調べたことがまとめられているか、(2)それを自分の言語観や日常の言語使用、また経験に照らし合わせ、より深く議論できているか、という2点において評価される。 ▶授業参加度/提出物：授業内での発言や質問（レビュー時）、および提出物の出来						
準備学修の時間	本科目の一回（90分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均180分が求められる。						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Course overview 本講を概観する	講義、ディスカッション	テキストのまえがきを読む
2	What is Linguistics? 言語学という分野を概観する	講義、ディスカッション	プリントの予習・復習
3	What is Sociolinguistics? 社会言語学という分野を概観する	講義、ディスカッション、Review session	テキスト (ch. 1)、レジユメの予習・復習
4	Multilingualism 多言語社会	講義、ディスカッション	テキスト (ch. 2)、レジユメの予習・復習
5	Diglossia & Domain 2言語併存の状況	講義、ディスカッション	テキスト (ch. 2)、レジユメの予習・復習
6	Code-switching: Why do we code-switch? なぜコードスイッチするのか	講義、ディスカッション、動画視聴	テキスト (ch. 2)、レジユメの予習・復習
7	Code-switching: How do we code-switch? どのようにコードスイッチするのか	講義、ディスカッション	テキスト (ch. 2)、レジユメの予習・復習
8	Language death: "Ainu Rebels" 言語の死	講義、ディスカッション、DVD視聴	テキスト (ch. 2)、レジユメの予習・復習

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
9	Language death 言語の死	講義、ディスカッション	テキスト(ch. 2)、レジユメの予習・復習
10	Pidgin and Creole ピジン語とクレオール語：その背景と特徴	講義、ディスカッション、動画視聴	テキスト(ch. 2)、レジユメの予習・復習
11	Pidgin and Creole ピジン語とクレオール語：広がりと言語的発達	講義、ディスカッション	テキスト(ch. 2)、レジユメの予習・復習
12	Regional variation: Studies by Labov 地域方言：Labovの調査研究	講義、ディスカッション	テキスト(ch. 3)、レジユメの予習・復習
13	Regional variation: Variation in English 地域方言：英語の地域差	講義、ディスカッション	テキスト(ch. 3)、レジユメの予習・復習
14	World Englishes: 国際語としての英語 Review of the first half 前半のまとめ	講義、ディスカッション、質疑応答	テキスト(ch. 3)、レジユメの予習・復習、前半の復習
15	Review of the first half 前半のまとめ 理解度テスト1	Review および質疑応答、試験実施	理解度テストに向けた準備
16	Social variation: Studies by W. Labov 社会方言：W. Labovによる研究	講義、ディスカッション	試験のReview、テキスト(ch. 3)
17	Social variation: social class and gender 社会方言：社会階級、性差	講義、ディスカッション、ビデオ視聴	テキスト(ch. 3)、レジユメの予習・復習
18	Social variation: ethnicity and age / generation 社会方言：人種・民族、年齢・年代	講義、ディスカッション	テキスト(ch. 3)、レジユメの予習・復習
19	Audience Design オーディエンス・デザイン	講義、ディスカッション	テキスト(ch. 4)、レジユメの予習・復習
20	Accommodation Theory アコモデーション理論	講義、ディスカッション	テキスト(ch. 4)、レジユメの予習・復習
21	Politeness: Its background ポライトネス：その背景	講義、ディスカッション	テキスト(ch. 4)、レジユメの予習・復習
22	Politeness: B & L's politeness ポライトネス：ブラウン&レビンソン	講義、ディスカッション	テキスト(ch. 4)、レジユメの予習・復習
23	Sexist language use 性差別的言語使用	講義、ディスカッション	テキスト(ch. 5)、レジユメの予習・復習
24	Cross-cultural Communication: Culture 異文化コミュニケーション：文化	講義、ディスカッション	テキスト(ch. 5)、レジユメの予習・復習
25	Cross-cultural Communication: Context 異文化コミュニケーション：文脈	講義、ディスカッション	テキスト(ch. 5)、レジユメの予習・復習
26	Cross-cultural Communication: Sapir-Whorf Hypothesis 異文化コミュニケーション	講義、ディスカッション	テキスト(ch. 5)、レジユメの予習・復習
27	Language policy 言語政策	講義、ディスカッション	テキスト(ch. 5)、レジユメの予習・復習
28	Language policy 言語政策 Review of the second half 後半のまとめ	講義、ディスカッション、質疑応答	テキスト(ch. 5)、レジユメの予習・復習、後半の復習
29	Review of the second half 後半のまとめ 理解度テスト2	Review および質疑応答、試験実施	理解度テストに向けた準備
30	Course review まとめ Test review	講義、ディスカッション、質疑応答	テキスト・レジユメの復習

テキスト	東照二(著)『社会言語学入門』(研究社)
参考書	飯野公一ほか(著)『新世代の言語学』(くろしお出版) Wardhaugh, R. <i>An Introduction to Sociolinguistics</i> (Blackwell).
その他 特記事項	本講の履修には「言語学概論」が履修済みか、あるいは同時履修していることが望ましい。よってそうでない場合には履修登録前に担当教員と話をする必要がある。

科目名	LNG305: 音声学				担当教員	大澤 恵里	
開講期	秋	開講時限	火金2限	研究室	4号館2階 講師控室	オフィスアワー	P.16を参照のこと
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	連絡先	
キーワード	アメリカ英語、母音、子音						
授業の概要	英語音声学の基礎的な知識を身につけ、英語の発音・リスニング向上につなげていく。特に英語音声の生成の仕組みを学ぶことで英語音声への理解を深め、発音を向上させていく。コースの後半には日本語音声について学ぶ機会も設ける。授業は主にパワーポイントを用いた講義形式で進めるが、音声の書き取り等の課題に取り組む時間も多く取る。						
達成目標	言語音の生成の仕組みや構造を学ぶことで、身のまわりの言語（英語や日本語など）の音声への理解を深め、自身がかかえる音声上の問題（発音など）を解決できるようにする。						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 普段何気なく使っている言語音声（母語や外国語）に興味や関心を広げる。 ・ 習得した理論や知識を自身の発音やリスニングに反映する。 						
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業への積極的な参加（20%）：授業時の積極的参加（授業で行う練習問題や課題への取り組みの積極性） ・ 授業外課題（10%×3回=30%）：①Transcription 課題（英語） ②日本語の母音図作成 ③Transcription 課題（日本語） ・ 授業内テスト（25%×2回=50%） 						
評価基準	評価基準の詳細に関しては初回の授業時に配布する。						
準備学修の時間	本科目の一回（90分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均180分が求められる。						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	オリエンテーション 音声（音）とは何か？	講義	講義内容を復習する。
2	音声学とは何か？ 調音器官	講義	pp.15-20を読んでくる。
3	調音方法	講義	前回の講義内容を復習して くる。
4	IPA 音声記号について	講義 音声記号使用実習	講義内容を復習する。
5	英語の母音 ①短母音	講義 発音 / リスニング実習	CDを聞いて復習する。 記号の復習をする。
6	英語の母音 ②長母音	講義 発音 / リスニング実習	CDを聞いて復習する。 記号の復習をする。
7	英語の母音 ③二重母音	講義 発音 / リスニング実習	CDを聞いて復習する。 記号の復習をする。
8	ここまでの復習 Transcription 練習	講義 Transcription 実習	授業外課題①
9	英語の子音 ①閉鎖音	講義 発音 / Transcription	調音方法の復習をする。 記号の復習をする。
10	英語の子音 ②摩擦音	講義 発音 / Transcription	調音方法の復習をする。 記号の復習をする。
11	英語の子音 ③破擦音・鼻音	講義 発音 / Transcription	調音方法の復習をする。 記号の復習をする。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
12	英語の子音 ④側音・半母音	講義 発音 / Transcription	調音方法の復習をする。 記号の復習をする。
13	ここまでの復習 Transcription 練習	講義 練習問題	授業内容の復習をする。
14	復習 授業内テスト①	講義 テスト	ここまでの総復習をして くる。
15	授業内テストフィードバック 振り返り	フィードバック テスト直し	間違えたところの確認をす る。
16	英語のリズム	講義 発音実習	発音の練習をする。 講義の内容の確認をする。
17	英語のアクセント	講義 発音実習	発音の練習をする。 講義内容の確認をする。
18	英語のイントネーション	講義 発音実習	発音の練習をする。
19	英語音声の総復習	講義 質疑応答	ここまでの振り返りを行 う。
20	日本語の母音	講義	授業外課題②
21	日本語の子音 ①閉鎖音・摩擦音・破擦音	講義	記号の復習をする。
22	日本語の子音 ②鼻音・わたり音・流音	講義	授業外課題③
23	日本語のリズム 特殊拍	講義	講義内容の復習をする。
24	東京方言(共通語)について	講義 方言紹介	講義内容の復習をする。
25	音韻論 ①音韻論とは何か?	講義	講義内容の復習をする。
26	音韻論 ②ミニマルペア	講義	講義内容の復習をする。
27	音韻論 ③音韻規則	講義	講義内容の復習をする。
28	学期の総復習	まとめプリントの記 入	プリントの復習をする。
29	復習 授業内テスト②	講義 テスト	ここまでの復習をする。
30	授業内テストフィードバック 質疑応答	講義 質疑応答	質問を考えてくる。 間違えた箇所を確認する。

テキスト	竹林滋、清水あつ子、斎藤弘子共著『改訂新版 初級英語音声学』(大修館書店)
参考書	窪園晴夫『音声学・音韻論』(くろしお出版)
その他 特記事項	日本語音声学に関する講義はテキストを使用せず、プリントを配布する。

科目名	LNG330: 日本語学					担当教員	宮崎 幸江
開講期	春	開講時限	月木4限	研究室	4217	オフィスアワー	P.16を参照のこと
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	連絡先	
キーワード	日本語の音韻論、統語論、語用論、社会言語学						
授業の概要	日本語のしくみについて、音韻論、統語論、形態論、意味論、語用論、社会言語学等を分野別に学ぶ。例えば、音韻論では、日本語の母音や子音の種類と分布の特徴、アクセントの型などを学び、統語論では文の構造について、形態論では語の成り立ちや動詞の活用について学ぶ。授業では、講義だけではなく毎回ディスカッションの時間を設け、文法の暗記ではなく自分達で日本語の構造を考えていく。						
達成目標	本科目は、日本語学習者から見た日本語の構造を理解し、説明する知識を身につけることを目的としている。						
到達目標	高校まで習ってきた学校文法とは異なる文法へのアプローチを身に付け、日本語をひとつの言語として客観的に捉えられるようになる。日本語と英語の構造や言語使用の語用論的な違い、世代差や地域差などを分析し、データや例文を提示しながら記述できるようになる。						
評価方法	授業への積極参加 20%、小テスト 30%、授業内試験 50%						
評価基準	授業への参加：授業内のディスカッションや発言を評価する。 小テスト：高校まで習ってきた学校文法とは異なる文法理解を評価する。 授業内試験：日本語をひとつの言語として客観的に捉え、日本語の言語使用をデータや例文を提示しながら記述できるかどうか評価する。						
準備学修の時間	本科目の一回（90分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均180分が求められる。						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	日本語学について	講義、ディスカッション、質疑応答	「日本語学について」の章を読んで復習
2	音声・音韻1 －音素とは／日本語の母音と子音	講義、ディスカッション、質疑応答	「音声・音韻」の章を読み、音声記号を暗記
3	音声・音韻2 －日本語の異音	講義、ディスカッション、質疑応答	50音表を音声記号を用いて書く
4	音声・音韻3 －日本語のアクセント	講義、ディスカッション、質疑応答	「アクセント」の章を読む
5	前回までの復習	小テスト及びテストの解説、形態論導入	次回の予習と復習
6	形態論1 －学校文法の動詞の活用と問題点	講義、ディスカッション、質疑応答	「形態論」の章全体を読む
7	形態論2 －日本語教育で使用する動詞の活用	講義、ディスカッション、質疑応答	学校文法の動詞表と新たに習ったものを比較
8	形態論3 －「て形」のルールを探す	講義、ディスカッション、質疑応答	上記を暗記する
9	形態論4 －形容詞の活用	講義、ディスカッション、質疑応答	形容詞の活用を覚える
10	格1 －格助詞	講義、ディスカッション、質疑応答	「格」の章全体を読む
11	格2 －意味の格：深層格	講義、ディスカッション、質疑応答	次回の章をもう一度読む

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
12	形態論と格の復習	小テスト及びテストの解説、受け身導入	第6回以降の復習
13	受け身1 －視点について	講義、ディスカッション、質疑応答	「受け身」の章全体を読む
14	受け身2 －日本語の受け身の種類と機能	講義、ディスカッション、質疑応答	受け身の機能を整理する
15	使役 －使役の構造と機能	講義、ディスカッション、質疑応答	「使役」の章全体を読む
16	授受表現1 －英語と日本語の違い	講義、ディスカッション、質疑応答	「授受表現」の章全体を読む
17	授受表現2 －授受表現と文化	講義、ディスカッション、質疑応答	授業の復習
18	受け身・使役と授受表現の復習	小テスト及びテストの解説、テンス導入	第13回以降の復習
19	テンス 過去と非過去	講義、ディスカッション、質疑応答	「テンス」の章全体を読む
20	アスペクト －「ている」の機能	講義、ディスカッション、質疑応答	「アスペクト」の章全体を読む
21	敬語1 －尊敬語と謙譲語	講義、ディスカッション、質疑応答	「敬語」の章全体を読む
22	敬語2 －美化語、丁寧語	講義、ディスカッション、質疑応答	敬語の種類をまとめる
23	「は」と「が」 主題と主語の違い	講義、ディスカッション、質疑応答同上	該当する教科書の章を読む
24	テンス・アスペクト・敬語・「は」と「が」の復習	小テスト及びテストの解説、次回の導入	第19回以降の復習
25	バリエーション1 －社会言語学	講義、ディスカッション、質疑応答	「バリエーション」の章全体を読む
26	バリエーション2 －ら抜き言葉	講義、ディスカッション、質疑応答	「ら抜き言葉」について考察し記述する
27	バリエーション3 －若者言葉	講義、ディスカッション、質疑応答	「若者言葉」について考察し記述する
28	記述問題の答え方 「ら抜き言葉」と「若者言葉」について	講義、ディスカッション、質疑応答	記述の練習
29	授業内記述試験と解説	講義、試験の解説と質疑応答	全体の復習
30	学期のまとめ	質疑応答	全体の復習

テキスト	庵功雄『新しい日本語入門—言葉のしくみを考える』(スリーエーネットワーク)
参考書	庵功雄他『やさしい日本語』(スリーエーネットワーク)

科目名	ENG360: 英語史					担当教員	山本 浩
開講期	秋	開講時限	月木 4 限	研究室	4212	オフィスアワー	P.16 を参照のこと
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2 年	連絡先	
キーワード	英語の史的理解、標準英語と多様な英語、英語と階級・文学・宗教・政治・メディア						
授業の概要	現代の国際語としての英語の考察から始め、同時に地球の様々な地域で発達する英語について視野を広げてゆく。その後、英語の歴史的变化の問題を扱ってゆく。中心的な問題は、古英語、キリスト教文献、ノルマン語の流入と中英語への変化、中英語の詩及び劇、印刷技術の発達、近代英語の発達とシェイクスピアの英語、近現代の英語、英語と階級、アメリカ英語を扱う。						
達成目標	古英語、中英語、近代英語、現代英語の特徴を理解し、語彙、文法、発音等の身近な問題について歴史的観点から理解することを主な目的とする。英語史に必要な用語・概念を英語で理解し、英語による文献読解力を身につける。そして英語の発達を、英国史、世界史、英文学史と繋げる視点と知識を得る。						
到達目標	英語という言語内の個々の単語、文法、表現を、それらの背後にある歴史的事象等と密接に結びつけ、言語を重層的に理解出来るようになる。英語史発展と関連が深い英国史、世界史、英文学史上の事象についても基本的知識を持つ。英語文献の正確な理解を、語彙、文法、文章構造の理解等と共に行えるようにする。						
評価方法	授業参加 20 % 授業内容の理解度を確認する小テスト 80%						
評価基準	古英語、中英語、近代英語のそれぞれの特徴と、英語の変遷に関する知識を得ているか、また、英国史、世界史、英文学史と英語の歴史との関係についての知識を得ているかが評価される。また、授業での質問に答えたか、積極的に質問や意見を述べたかが評価される。						
準備学修の時間	本科目の一回（90 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 180 分が求められる。						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	英語の現在	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
2	ケルト人、ローマ人、ゲルマン人	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
3	比較言語学とインド・ヨーロッパ語族	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
4	インド・ヨーロッパ語族の諸言語	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
5	ゲルマン語と英語	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
6	ゲルマン人と古英語	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
7	古英語の特徴	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
8	古英語の文学	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
9	小テスト（45 分）と 1 回～8 回の授業の復習（45 分）	小テストと小テストに基づく復習	小テストの準備学習をする
10	小テストのふりかえり	小テストに基づく復習	間違えた箇所、理解できていなかったところを復習

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
11	ノルマン征服と中英語	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
12	中英語の特徴	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
13	中英語の文学(チョーサー)	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
14	中英語の文学と時代	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
15	大母音推移と印刷術の発達	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
16	小テスト(45分)と11回~15回の授業の復習(45分)	小テストと小テストに基づく復習	小テストの準備学習をする
17	小テストのふりかえり	小テストに基づく復習	間違えた箇所、理解できていなかったところを復習
18	ヨーロッパとイングランドのルネッサンス	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
19	チューダー朝と宗教改革	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
20	近代英語の始まりとシェイクスピア	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
21	聖書の英語訳	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
22	英語の規範化	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
23	小テスト(45分)と18回~22回の授業の復習(45分)	小テストと小テストに基づく復習	小テストの準備学習をする
24	小テストのふりかえり	小テストに基づく復習	間違えた箇所、理解できていなかったところを復習
25	イギリスの階級	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
26	英語と階級、Queen's English, BBC English, RP	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
27	英語の方言	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
28	イギリス英語とアメリカ英語	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
29	小テスト(45分)と25回~28回の授業の復習(45分)	小テストと小テストに基づく復習	小テストの準備学習をする
30	小テストのふりかえり	小テストに基づく復習	間違えた箇所、理解できていなかったところを復習

テキスト	特定の教科書は使用しない。事前に配布されるパワーポイント資料を事前にプリントして予習し、授業の時に持参する。
参考書	中尾俊夫『英語の歴史』講談社現代新書 0958 (講談社) 寺澤盾『英語の歴史—過去から未来への物語』中公新書 1971 (中央公論新社) メルヴィン・ブラッグ『英語の冒険』講談社学術文庫 1869 (講談社) 中尾俊夫・寺島廸子『図説 英語史入門』(大修館書店) その他の参考書は、授業中に随時紹介する。

科目名	EDU310: 初等教育					担当教員	杉村 美佳
開講期	秋	開講時限	火金 4 限	研究室	4220	オフィスアワー	P.16 を参照のこと
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2 年	連絡先	
キーワード	小学校教育、発達教育学、初等教育史、教育課程、教育方法、指導案の作成、模擬授業						
授業の概要	前半では、児童期の発達の段階と筋道を、主に発達教育学の視点から学ぶ。後半では、教育課程論、教育方法論、初等教育の歴史と現状、課題について探求する。授業実践について理解を深めるため、実際に小学校の授業を見学し、その上で指導案の作成と模擬授業を行う。						
達成目標	児童期の発達や初等教育の基礎理論および課題を理解し、授業実践に必要な知識や技術の基礎を習得する。児童の発達や興味・関心に即した指導案を作成し、模擬授業を行うことを通して、実践的な指導力の基礎を身につける。						
到達目標	<p>①初等教育の現状と課題を学び、教師論や教育課程論等を理解することを通して、初等教育の理論や実践に関する基礎知識を身につける。</p> <p>②『教育の段階』のブックレポート作成を通して、児童期の発達の筋道を理解し、発達段階に即した教育のあり方を考察できるようになる。</p> <p>③各自が学習者を主体とした「総合的な学習の時間」の指導案を作成し、模擬授業を行い、相互に授業評価をしようことにより、効果的に児童への指導が行える力を養う。</p>						
評価方法	授業時に課すリアクション・ペーパー（30%）、『教育の段階』のブックレポート（30%）、小学校見学のレポート（10%）、指導案の作成・発表（30%）						
評価基準	<p>リアクション・ペーパー（20%）：課題について授業内容を踏まえて論理的に論述できているか。</p> <p>『教育の段階』のブックレポート（30%）：テキストの内容を理解し、発達の筋道に即した教育のあり方について考察できているか。</p> <p>小学校見学のレポート（10%）：教師と児童の様子、授業のねらいや工夫を捉えているか。</p> <p>指導案の作成・発表（40%）：ねらいが明確で一貫性があり、学習者の発達や興味に即した指導案であるか、指導案を効果的に実践する工夫がなされているか、を評価する。</p>						
準備学修の時間	本科目の一回（90分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 180 分が求められる。						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	小学生をめぐる今日の課題	講義・ディスカッション リアクションペーパー	配布資料の要約・考察
2	小学生の時代的变化	講義・ディスカッション リアクションペーパー	小学生の問題について調べる、配布資料の要約・考察
3	児童期の発達の諸側面と教育（1） — 認知的発達 —	講義・ディスカッション リアクションペーパー	ピアジェの理論について調べる、配布資料の考察
4	児童期の発達の諸側面と教育（2） — 社会的・人格的発達 —	講義・ディスカッション リアクションペーパー	社会性の発達について調べる、配布資料の要約・考察
5	児童期における道徳性の発達と教育	講義・ディスカッション リアクションペーパー	配布資料を読む 配布資料の要約・考察
6	児童期における問題行動の意味	講義・DVD 視聴 リアクションペーパー	問題行動について調べる DVD の内容の要約・考察
7	『教育の段階』のレポート発表（1）	口頭発表・討議・解説	『教育の段階』1 のレポート 『教育の段階』の復習
8	『教育の段階』のレポート発表（2）	口頭発表・討議・解説	『教育の段階』2 のレポート 『教育の段階』の復習
9	『教育の段階』のレポート発表（3）	口頭発表・討議・解説	『教育の段階』3 のレポート 『教育の段階』の復習

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
10	『教育の段階』のレポート発表(4)	口頭発表・討議・解説	『教育の段階』4のレポート 『教育の段階』の復習
11	小学校教師とは	講義・ディスカッション リアクションペーパー	教師の問題について調べる 配布資料の要約・考察
12	初等教育の内容と教育課程	講義・ディスカッション リアクションペーパー	コア・カリキュラムを調べる、 配布資料の要約・考察
13	総合的な学習の時間の原理と方法	講義・ディスカッション リアクションペーパー	総合学習について調べる 配布資料の要約・考察
14	特別支援教育の現状と課題	講義・ディスカッション リアクションペーパー	特別支援教育について調べる、 配布資料の要約・考察
15	近代日本初等教育史(1) 大正自由教育	講義・ディスカッション リアクションペーパー	大正自由教育について調べる、 配布資料の要約・考察
16	近代日本初等教育史(2) 戦後の教育改革	講義・ディスカッション リアクションペーパー	戦後の教育について調べる 配布資料の要約・考察
17	現代における授業改革	講義・DVD視聴 リアクションペーパー	アクティブ・ラーニングを 調べる、DVDの要約・考察
18	諸外国の初等教育(1) アメリカ	講義・DVD視聴 リアクションペーパー	アメリカの教育を調べる DVDの内容の要約・考察
19	諸外国の初等教育(2) ヨーロッパ	講義・DVD視聴 リアクションペーパー	ヨーロッパの教育を調べる DVDの内容の要約・考察
20	小学校見学の準備	グループワーク	配布資料を読む 配布物の作成
21	小学校見学	見学	見学のポイントを作成 見学の振り返り
22	小学校見学のまとめ	グループワーク	見学のレポートを作成
23	指導案とは—指導案の作成方法—	講義、グループワーク	配布資料を読む 指導案の作成
24	指導案の作成(1) —単元・ねらいの設定—	各自指導案の作成	指導案の作成
25	指導案の作成(2) —教材・教具—	各自指導案の作成	指導案の作成
26	指導案の作成(3) —指導方法・評価—	各自指導案の作成	指導案の作成
27	模擬授業(1)	模擬授業、相互評価 講評	模擬授業の準備と練習
28	模擬授業(2)	模擬授業、相互評価 講評	模擬授業の準備と練習
29	模擬授業(3)	模擬授業、相互評価 講評	模擬授業の準備と練習
30	模擬授業(4)	模擬授業、相互評価 講評	模擬授業の準備と練習

テキスト	なし。毎回書き込み式講義ノートと新聞記事などの資料を配布する。
参考書	モーリス・ドベス著、堀尾輝久他訳『教育の段階—誕生から青年期まで』(岩波書店) 近藤邦夫他編『児童期の課題と支援』(新曜社)
その他 特記事項	秦野市教育委員会からゲストスピーカーを招き、授業実践に関する講義を行う。

科目名	PSY301: 発達心理学					担当教員	森崎 ひろみ
開講期	秋	開講時限	月木3限	研究室	4号館2階 講師控室	オフィスアワー	P.16を参照のこと
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	連絡先	
キーワード	発達の視点、愛着、認知、情動、アイデンティティ、親密性、ライフサイクル						
授業の概要	発達心理学研究の成果に基づいて乳幼児から老人まで人間の生涯にわたる成長発達とその過程について学びます。発達段階毎の特徴や発達のメカニズムに関する重要なテーマを取り上げて理解を深めます。時間の経過とともに変化する人間の成長・発達の不思議に関心をもちつつ、発達ラインに沿った人間理解の可能性について視野を広げて行きます。						
達成目標	発達心理学の基本的な用語や知識を習得すること、発達心理学的思考を身につけること、テーマに沿って論理的に考えを展開できるようになること、発達心理学の臨床的な問題を身近な問題として考える基礎知識を身につけていきます。						
到達目標	人間を発達的な観点から理解すること、現在の心のあり方を一生という時間軸で理解すること、自分自身の現在を振り返り展望して考えることができるようになることが目標です。						
評価方法	授業態度とリアクションペーパー50%、授業内テスト3回50%						
評価基準	事前学習を通じたグループワーク・グループ学習への貢献や積極的な質問といった授業態度及び適切なリアクションペーパーの記述を評価する。試験では、学習したポイントや心理学用語を正確に理解し、適切にまとめ、記述できるかどうか、その上で、応用の設問にこたえることができるかどうかを評価する。						
準備学修の時間	本科目の一回(90分)の授業のための授業外学修(予習・復習)時間は、平均180分が求められる。						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習(予習・復習)
1	オリエンテーション: 授業の進め方等 生涯発達心理学とは	講義、質疑応答、 リアクションペーパー	シラバスの通読
2	生涯発達の課題と方法	講義、質疑応答、 リアクションペーパー	授業の復習と資料を読み、 要点をまとめる
3	乳児期: 愛着形成	講義、質疑応答、 リアクションペーパー	授業の復習と資料を読み、 要点をまとめる
4	乳児期: 生涯における愛着の意味	グループ学習、 リアクションペーパー	授業の復習と資料を読み、 要点をまとめる
5	乳幼児の認知	講義、質疑応答、 リアクションペーパー	授業の復習と資料を読み、 要点をまとめる
6	乳幼児のことば	グループ学習、 リアクションペーパー	授業の復習と資料を読み、 要点をまとめる
7	乳幼児期の対人世界	講義、質疑応答、 リアクションペーパー	授業の復習と資料を読み、 要点をまとめる
8	乳幼児期の感情の発達と制御	グループ学習、 リアクションペーパー	授業の復習と資料を読み、 要点をまとめる
9	第一回授業内試験 解答と解説	授業内試験、 リアクションペーパー	1~8回授業の復習 試験の見直し
10	幼児期から児童期へ	ワークとグループ討議、 リアクションペーパー	授業の復習と資料を読み、 要点をまとめる
11	児童期: こども時代の環境世界	講義、質疑応答、 リアクションペーパー	授業の復習と資料を読み、 要点をまとめる

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習(予習・復習)
12	児童期：児童期の学びと仲間世界	グループ学習、 リアクションペーパー	授業の復習と資料を読み、 要点をまとめる
13	児童期から思春期へ	ワークとグループ討議、 リアクションペーパー	授業の復習と資料を読み、 要点をまとめる
14	思春期：揺れ動く心	講義、質疑応答、 リアクションペーパー	授業の復習と資料を読み、 要点をまとめる
15	思春期：思春期の発達課題	グループ学習、 リアクションペーパー	授業の復習と資料を読み、 要点をまとめる
16	思春期から青年期へ	ワークとグループ討議、 リアクションペーパー	授業の復習と資料を読み、 要点をまとめる
17	青年期：アイデンティティの探求	講義、質疑応答、 リアクションペーパー	授業の復習と資料を読み、 要点をまとめる
18	青年期：青年期の発達課題	グループ学習、 リアクションペーパー	授業の復習と資料を読み、 要点をまとめる
19	第二回授業内試験 解答と解説	授業内試験、 リアクションペーパー	10～18回授業の復習 試験の見直し
20	大人になること	講義、質疑応答、 リアクションペーパー	授業の復習と資料を読み、 要点をまとめる
21	成人前期：成人前期の発達課題	グループ学習、 リアクションペーパー	授業の復習と資料を読み、 要点をまとめる
22	成人中期：人生の転換	講義、質疑応答、 リアクションペーパー	授業の復習と資料を読み、 要点をまとめる
23	成人中期：成人中期の発達課題	グループ学習、 リアクションペーパー	授業の復習と資料を読み、 要点をまとめる
24	成人後期：世代継承	講義、質疑応答、 リアクションペーパー	授業の復習と資料を読み、 要点をまとめる
25	成人後期：成人後期の発達課題	グループ学習、 リアクションペーパー	授業の復習と資料を読み、 要点をまとめる
26	中高年の心理的变化	講義、質疑応答、 リアクションペーパー	授業の復習と資料を読み、 要点をまとめる
27	老年期の生活の諸相	講義、質疑応答、 リアクションペーパー	授業の復習と資料を読み、 要点をまとめる
28	生涯発達心理学の課題と未来	講義、質疑応答、 リアクションペーパー	授業の復習と資料を読み、 要点をまとめる
29	第三回授業内試験 解答と解説	授業内試験、 リアクションペーパー	20～28回授業の復習 試験の見直し
30	生涯発達心理学のまとめ 質疑と補足	講義補足、質疑応答、 リアクションペーパー	授業で学んだことを振り返る

テキスト	指定しない。パワーポイント作成の資料を moodle にアクセスして入手すること。 その他、必要に応じて授業内で資料を配布する。
参考書	小嶋秀雄・やまだようこ『生涯発達心理学』(放送大学)
履修条件、 前提科目	春学期に心理学の講義を受講していることが望ましい。
その他 特記事項	テーマに沿った個人ワーク、グループでの学習・討議を行います。

科目名	LNG325: 第二言語習得					担当教員	T. Gould
開講期	秋	開講時限	火金4限	研究室	4209	オフィスアワー	P.16を参照のこと
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	連絡先	
キーワード	Second Language Acquisition, Linguistics, Language Learning						
授業の概要	The overall objective of this course is for students to learn the foundations of Second Language Acquisition. Students will also learn to conduct basic research using both provided data and data they collect themselves. Students will learn to create transcripts from their data and, most importantly, they will learn to analyze their data. Conducting this analysis will enable students to learn to synthesize the contents of the lectures and textbook with real world language use. Projects in this course will help students to learn to understand and improve their own second language learning process.						
達成目標	In this course, students will learn and use the vocabulary necessary to understand class lectures and discuss SLA topics with other class members. Students will learn to transcribe linguistic data, beginning with a Japanese-Japanese conversation. They will then learn to analyze their own second language production by transcribing and analyzing a sample of a conversation in English with other class members. Finally, for their final project, students will learn to put their knowledge to use by transcribing and analyzing data from an English speaker learning Japanese.						
到達目標	By the end of this course, students should be able to transcribe and analyze second language data from both English and Japanese. Students should also be able to discuss the basic processes of second language acquisition in terms that we have studied during the semester.						
評価方法	Small Project 15%, Mid-Term Project 25%, Final Project 30%, Assessment 30%.						
評価基準	Small Project: display understanding of SLA transcription methods as applied to Japanese conversation; Mid-Term Project: successfully complete full transcription of participant oriented video of English conversation, complete analysis of transcription including reference to text issues from video; Final Project: successfully complete transcription and analysis of video of acquisition of Japanese as second language; Assessment: for each of three tests, correctly answer test questions to display knowledge of covered content.						
準備学修の時間	For each 90-minute class session of this course, an average of 180 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
1	Introduction: Goals of SLA; Describing and explaining L1 acquisition, wug test, stages	Lecture; pair-work; group-work	Read HLAL: 5-13; select groups for project 1
2	Behaviorist vs Innatist perspective; critical period hypothesis, interactionist (Piag. / Vyg.)	Lecture; pair-work; group-work	HLAL: 15-24; practice En conversation
3	Childhood bilingualism, learner characteristics, learning conditions	Lecture; pair-work; group-work	HLAL: 30-33; practice Eng. conversation
4	Studying the language of L2 learners, contrastive analysis, err. analysis, interlang.	Lecture; pair-work; group-work	HLAL: 40-46; record 5 min. J. conversation
5	Vocabulary, pragmatics (directness, politeness, deference), conversational interact.	Lecture; pair-work; group-work	HLAL: 60-68; prepare 1 min. sample transcript
6	Individual differences in SLA, learner characteristics, intelligence, aptitude	Lecture; pair-work; group-work	HLAL: 75-83; trans. rough draft and analysis points
7	Personality, attitudes and motivation, identity, learner beliefs	Lecture; pair-work; group-work	HLAL: 84-91; complete final transcript draft
8	Age and second language learning, critical period (in depth), intuitions of gramm.	Lecture; pair-work; group-work	HLAL: 96; Project 1 due in class
9	Review and Test	Short lecture; take test	Study for test

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
10	Mimicry and memorization, Krashen's 'Monitor Model,' begin cognitive perspective, information processing	Lecture; pair-work; group-work	HLAL: 104-108; meet w / group-practice conv.
11	Usage-based learning, competition model, language and the brain, interaction hypothesis	Lecture; pair-work; group-work	HLAL: 109-111; meet w / group-practice conv
12	The noticing hypothesis, input processing, the role of practice	Lecture; pair-work; exam feedback	HLAL: 112-116; record 5 min E. conversation
13	The sociocultural perspective, learning by talking	Lecture; pair-work; group-work	HLAL: 117-121; distribute data to group
14	Observing learning and teaching in the second language classroom, natural and inst. settings	Lecture; pair-work; group-work	HLAL: 123-128; prepare 1 min sample transcript
15	Observation schemes, teacher-student interaction, characteristics of input / interaction	Lecture; pair-work; group-work	HLAL: 129-133; continue on transcript
16	Corrective feedback in the classroom, recasts and private speech, feedback in context	Lecture; pair-work; group-work	HLAL: 139-143; show outline and analysis pts.
17	Questions in the classroom, scaffolding, display, and referential questions	Lecture; pair-work; group-work	HLAL: 145-149; mid-term project due in class
18	Second Language Learning in the classroom, proposals for teaching, grammar plus comm.	Lecture; pair-work; group-work	HLAL: 153-159; organize groups for final project
19	Comprehension-based instruction for children, reading for words, input flood, enhanced input	Lecture; pair-work; group-work	HLAL: 160-163; distribute data files
20	Review and Test	Short lecture; take test	Study for test
21	Processing instruction, interpreting research, 'Let's Talk' methodology	Lecture; pair-work; group-work	HLAL: 164-168; prepare sample 1 minute trans
22	The dynamics of pair work, interaction and SL dev't, learner-learner interaction	Lecture; pair-work; group-work	HLAL: 169-171; prepare sample 1 minute trans.
23	French immersion programs in Canada, late immersion in HK, dual immersion	Lecture; pair-work; exam feedback	HLAL: 172-175; work on transcribing J. data
24	Teach what is teachable, developmental stage and first language acquisition	Lecture; pair-work; group-work	HLAL: 177-182; continue transcribing, identify analysis.
25	"Get it right in the end," form-focus experiments in intensive ESL	Lecture; pair-work; group-work	HLAL: 182-187; begin English gloss of trans.
26	Focusing on gender in French immersion, verb forms in content-based classrooms	Lecture; pair-work; group-work	HLAL: 187-189; complete English gloss
27	Focus on form in task-based instruction, assessing the proposals	Lecture; pair-work; group-work	HLAL: 190-198; finish transcription
28	Popular ideas about language learning revisited	Lecture; pair-work; group-work	HLAL: 202-212; rough outline of main analysis points
29	Review and Test	Short lecture; take test	Prepare final draft w / analysis
30	Conclusion: multiple perspectives in SLA	Lecture; pair-work; exam feedback	Transcription / analysis project (Japanese learner) due in class

テキスト	Patsy Lightbown and Nina Spada. <i>How Languages are Learned</i> (Oxford University Press).
参考書	Any basic Introduction to Second Language Acquisition book in Japanese

科目名	EDU300: 児童英語教育演習 A					担当教員	狩野 晶子
開講期	春	開講時限	月 1・2 限	研究室	4203	オフィスアワー	P.16 を参照のこと
分類	選択	単位	4	標準受講年次	2 年	連絡先	
キーワード	児童英語教育、言語習得、模擬授業、サービ斯拉ーニング活動、アクティブラーニング						
授業の概要	児童英語教育・言語習得の基本事項をふまえて、実践へと結びつける科目である。児童英語教育に関する背景知識や第二言語習得理論の知識をもとに、小学校の現場での使用を想定した指導案を作成し、模擬授業を行う。あわせてサービ斯拉ーニング枠で行うイングリッシュ・フレンド活動に参加し授業実践と省察を通して理論と実践を体得する。						
達成目標	児童英語の指導に必要な知識を身につけ、実践に結びつける。サービ斯拉ーニング活動での実践の機会を活用して、小学校での英語活動の目的と意義に沿った指導案を作成し、グループによる指導実践ができるようになる。						
到達目標	児童英語教育の基礎知識を活かし、グループでの小学校での英語活動指導を行うことができる。グループでの指導案作成、教材作成、模擬授業の準備の過程と、相互評価と講評による振り返りを通して、基礎的な教案作成力、授業での指導力が身につく。児童の認知発達や特性を考慮した指導案の作成と指導案に沿った適切な教材、教具の作成ができる。自らの指導を検証、評価し改善する経験を積む。						
評価方法	①出席時の授業参加姿勢（40%）、②教案・教材作成（20%）、③模擬授業（20%）、④期末課題（20%）の比率に基づいて総合的に評価する。						
評価基準	①リアクションペーパー、授業内のすべての活動に対する前向きな取り組み、ことにグループワーク等への参加、協力、主体的に関わる姿勢を評価する。②児童の特性を考慮したコミュニケーション型の授業案かを評価する。③適切な teacher talk の使用、アクティビティ運用のスムーズさ、準備と練習の成果を評価する。④学内 SNS「みんなの広場」での省察の蓄積が活かされた内容で、具体的な改良改善提案があるかを評価する。						
準備学修の時間	本科目の一回（90 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 180 分が求められる。						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	児童英語教育とは これまでの学習内容と前提知識の確認	講義 グループワーク	既習科目の内容復習
2	児童英語教育の背景となる言語習得理論	講義、学生発表 グループワーク	テキスト 2 を読み、リアクションペーパー作成
3	児童英語教育の背景となる発達理論	講義、学生発表 グループワーク	発表準備 SNS での省察
4	言語習得理論・発達理論と児童英語教育の指導実践	講義、学生発表 グループワーク	発表準備 SNS での省察
5	コミュニケーション能力の育成 Communicative Language teaching の観点から	講義、学生発表 グループワーク	発表準備 SNS での省察
6	これまでの英語教育とこれからの英語教育	講義、学生発表 グループワーク	発表準備 SNS での省察
7	学習指導要領と小学校教育における外国語活動の位置づけ	講義、学生発表 グループワーク	テキスト 1 ①②の概要レポート作成準備
8	小学校における英語活動の特徴	講義、学生発表 グループワーク	テキスト 1 ①②の概要レポート作成
9	学年（年齢）・学習経験・子ども特有の要因	講義、学生発表 グループワーク	テキスト 1 ①②の概要レポート作成
10	モデル指導案①の研究	指導実践、学生発表 グループワーク	発表準備 SNS での省察
11	モデル指導案①の実践練習（1） Classroom English の効果的な使用	指導実践、学生発表 グループワーク	発表準備と実践練習 SNS での省察

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
12	モデル指導案①の実践練習(2) 教材・教具の効果的な使用	指導実践、学生発表 グループワーク	発表準備と実践練習 SNSでの省察
13	モデル指導案②の研究	指導実践、学生発表 グループワーク	発表準備 SNSでの省察
14	モデル指導案②の実践練習(1) Classroom Englishの効果的な使用	指導実践、学生発表 グループワーク	発表準備と実践練習 SNSでの省察
15	モデル指導案②の実践練習(2) 教材・教具の効果的な使用	指導実践、学生発表 グループワーク	発表準備と実践練習 SNSでの省察
16	指導案作成に向けて：言語材料の選び方	指導実践、学生発表 グループワーク	各自テーマを調べる 指導案作成準備
17	指導案作成に向けて：言語材料のバリエーション	講義、学生発表 グループワーク	各自テーマを調べる 指導案作成準備
18	指導案作成に向けて：言語活動のポイント	講義、学生発表 グループワーク	各自テーマを調べる 指導案作成準備
19	指導案作成に向けて：言語活動のバリエーション	講義、学生発表 グループワーク	各自テーマを調べる 指導案作成準備
20	グループでの指導案作成	グループワーク	発表準備 SNSでの省察
21	グループでの教材・教具作成	グループワーク	発表準備 SNSでの省察
22	模擬授業発表(1)・相互評価と講評	学生発表、相互評価 講評	発表準備と実践練習 SNSでの省察
23	模擬授業発表(2)・相互評価と講評	学生発表、相互評価 講評	発表準備と実践練習 SNSでの省察
24	模擬授業発表(3)・相互評価と講評	学生発表、相互評価 講評	発表準備と実践練習 SNSでの省察
25	模擬授業発表(4)・相互評価と講評	学生発表、相互評価 講評	発表準備と実践練習 SNSでの省察
26	模擬授業発表(5)・相互評価と講評	学生発表、相互評価 講評	発表準備と実践練習 SNSでの省察
27	模擬授業発表(6)・相互評価と講評	学生発表、相互評価 講評	発表準備と実践練習 SNSでの省察
28	模擬授業発表(7)・相互評価と講評	学生発表、相互評価 講評	発表準備と実践練習 SNSでの省察
29	模擬授業発表(8)・相互評価と講評	学生発表、相互評価 講評	発表準備と実践練習 SNSでの省察
30	振り返りとまとめ	講義、講評 グループワーク	期末課題準備・作成

テキスト	1. 文部科学省『Hi! Friends ①』『Hi! Friends ②』テキストおよび指導編(東京書籍) 2. 文部科学省『小学校学習指導要領解説 外国語活動編』(東洋館出版)
参考書	上智大学 CLT プロジェクト編『コミュニケーション型英語教育を考える』(アルク)
履修条件、 前提科目	<ul style="list-style-type: none"> この授業を履修する学生は、木曜 1・2 限のサービ斯拉ーニング枠には他の授業を入れないこと。サービ斯拉ーニング枠を活用した小学校でのイングリッシュ・フレンド活動に参加し、この授業で作成した指導案を用いることにより指導の実践も体験できる。 この授業の履修にあたり「児童英語教育概説」「児童英語指導者養成講座」「第二言語習得」のいずれかを修了していることが望ましい。
その他 特記事項	「児童英語教育演習 B」と両方の履修が可能である。A と B の履修順序は問わない。

科目名	EDU301: 児童英語教育演習 B					担当教員	狩野 晶子
開講期	秋	開講時限	月 1・2 限	研究室	4203	オフィスアワー	P.16 を参照のこと
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2 年	連絡先	
キーワード	児童英語教育、言語習得、模擬授業、サービ斯拉ーニング活動、アクティブラーニング						
授業の概要	児童英語教育・言語習得の基本事項をふまえて、実践へと結びつける科目である。児童英語教育に関する背景知識や第二言語習得理論の知識をもとに、小学校の現場での使用を想定した指導案を作成し、模擬授業を行う。あわせてサービ斯拉ーニング枠で行うイングリッシュ・フレンド活動に参加し授業実践と省察を通して理論と実践を体得する。						
達成目標	児童英語の指導に必要な知識を身につけ、実践に結びつける。サービ斯拉ーニング活動での実践の機会を活用して、小学校での英語活動の目的と意義に沿った指導案を作成し、グループによる指導実践ができるようになる。						
到達目標	児童英語教育の基礎知識を活かし、グループでの小学校での英語活動指導を行うことができる。グループでの指導案作成、教材作成、模擬授業の準備の過程と、相互評価と講評による振り返りを通して、基礎的な教案作成力、授業での指導力が身につく。児童の認知発達や特性を考慮した指導案の作成と指導案に沿った適切な教材、教具の作成ができる。自らの指導を検証、評価し改善する経験を積む。						
評価方法	①出席時の授業参加姿勢（40%）、②教案・教材作成（20%）、③模擬授業（20%）、④期末課題（20%）の比率に基づいて総合的に評価する。						
評価基準	①リアクションペーパー、授業内のすべての活動に対する前向きな取り組み、ことにグループワーク等への参加、協力、主体的に関わる姿勢を評価する。②児童の特性を考慮したコミュニケーション型の授業案かを評価する。③適切な teacher talk の使用、アクティビティ運用のスムーズさ、準備と練習の成果を評価する。④学内 SNS「みんなの広場」での省察の蓄積が活かされた内容で、具体的な改良改善提案があるかを評価する。						
準備学修の時間	本科目の一回（90 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 180 分が求められる。						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	児童英語教育とは これまでの学習内容と前提知識の確認	講義 グループワーク	既習科目の内容復習
2	児童英語教育の背景となる言語習得理論	講義、学生発表 グループワーク	テキスト 2 を読み、リアクションペーパー作成
3	児童英語教育の背景となる発達理論	講義、学生発表 グループワーク	発表準備 SNS での省察
4	言語習得理論・発達理論と児童英語教育の指導実践	講義、学生発表 グループワーク	発表準備 SNS での省察
5	コミュニケーション能力の育成 Communicative Language teaching の観点から	講義、学生発表 グループワーク	発表準備 SNS での省察
6	これまでの英語教育とこれからの英語教育	講義、学生発表 グループワーク	発表準備 SNS での省察
7	学習指導要領と小学校教育における外国語活動の位置づけ	講義、学生発表 グループワーク	テキスト 1 ①②の概要レポート作成準備
8	小学校における英語活動の特徴	講義、学生発表 グループワーク	テキスト 1 ①②の概要レポート作成
9	学年（年齢）・学習経験・子ども特有の要因	講義、学生発表 グループワーク	テキスト 1 ①②の概要レポート作成
10	モデル指導案①の研究	指導実践、学生発表 グループワーク	発表準備 SNS での省察
11	モデル指導案①の実践練習（1） Classroom English の効果的な使用	指導実践、学生発表 グループワーク	発表準備と実践練習 SNS での省察

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
12	モデル指導案①の実践練習(2) 教材・教具の効果的な使用	指導実践、学生発表 グループワーク	発表準備と実践練習 SNSでの省察
13	モデル指導案②の研究	指導実践、学生発表 グループワーク	発表準備 SNSでの省察
14	モデル指導案②の実践練習(1) Classroom Englishの効果的な使用	指導実践、学生発表 グループワーク	発表準備と実践練習 SNSでの省察
15	モデル指導案②の実践練習(2) 教材・教具の効果的な使用	指導実践、学生発表 グループワーク	発表準備と実践練習 SNSでの省察
16	指導案作成に向けて：言語材料の選び方	指導実践、学生発表 グループワーク	各自テーマを調べる 指導案作成準備
17	指導案作成に向けて：言語材料のバリエーション	講義、学生発表 グループワーク	各自テーマを調べる 指導案作成準備
18	指導案作成に向けて：言語活動のポイント	講義、学生発表 グループワーク	各自テーマを調べる 指導案作成準備
19	指導案作成に向けて：言語活動のバリエーション	講義、学生発表 グループワーク	各自テーマを調べる 指導案作成準備
20	グループでの指導案作成	グループワーク	発表準備 SNSでの省察
21	グループでの教材・教具作成	グループワーク	発表準備 SNSでの省察
22	模擬授業発表(1)・相互評価と講評	学生発表、相互評価 講評	発表準備と実践練習 SNSでの省察
23	模擬授業発表(2)・相互評価と講評	学生発表、相互評価 講評	発表準備と実践練習 SNSでの省察
24	模擬授業発表(3)・相互評価と講評	学生発表、相互評価 講評	発表準備と実践練習 SNSでの省察
25	模擬授業発表(4)・相互評価と講評	学生発表、相互評価 講評	発表準備と実践練習 SNSでの省察
26	模擬授業発表(5)・相互評価と講評	学生発表、相互評価 講評	発表準備と実践練習 SNSでの省察
27	模擬授業発表(6)・相互評価と講評	学生発表、相互評価 講評	発表準備と実践練習 SNSでの省察
28	模擬授業発表(7)・相互評価と講評	学生発表、相互評価 講評	発表準備と実践練習 SNSでの省察
29	模擬授業発表(8)・相互評価と講評	学生発表、相互評価 講評	発表準備と実践練習 SNSでの省察
30	振り返りとまとめ	講義、講評 グループワーク	期末課題準備・作成

テキスト	1. 文部科学省『Hi! Friends ①』『Hi! Friends ②』テキストおよび指導編(東京書籍) 2. 文部科学省『小学校学習指導要領解説 外国語活動編』(東洋館出版)
参考書	上智大学 CLT プロジェクト編『コミュニケーション型英語教育を考える』(アルク)
履修条件、 前提科目	<ul style="list-style-type: none"> この授業を履修する学生は、木曜 1・2 限のサービ斯拉ーニング枠には他の授業を入れないこと。サービ斯拉ーニング枠を活用した小学校でのイングリッシュ・フレンド活動に参加し、この授業で作成した指導案を用いることにより指導の実践も体験できる。 この授業の履修にあたり「児童英語教育概説」「児童英語指導者養成講座」「第二言語習得」のいずれかを修了していることが望ましい。
その他 特記事項	「児童英語教育演習 B」と両方の履修が可能である。A と B の履修順序は問わない。

科目名	EDU206: 児童英語指導者養成講座					担当教員	杉村 美佳
開講期	秋	開講時限	火金3限	研究室	4220	オフィスアワー	P.16を参照のこと
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	連絡先	
キーワード	児童英語教育、小学校英語活動、言語習得、英語教授法、LESSON PLAN						
授業の概要	小学校英語指導者認定協議会（J-SHINE）認定による「小学校英語指導者資格」の取得を目指し、児童英語指導者として求められる基礎的な知識と模擬実践経験を得る。子どもの言語習得理論、児童心理学、認知発達理論など、指導者として必要な理論の基礎を学び、児童英語指導者に求められる英語力を身につけるためのトレーニングを行う。実践を想定した模擬授業を通して授業スキルやLESSON PLANの書き方を体得する。						
達成目標	児童英語教師として小学校での英語指導や指導補助を行うことを目指し、児童英語に関する基礎知識、教授技術の基本を理解し、英語のみでの指導が行える指導技術と英語力を習得することを目標とする。						
到達目標	①児童英語指導者に必要な英語力の体得に加え、言語習得理論や児童心理、認知発達理論等、児童英語教育の理論の基礎を習得する。②LESSON PLANを作成し、アクティビティを実践することを通して、効果的に児童への指導が行えるようになる。③小学校英語指導者認定協議会（J-SHINE）の認定による「小学校英語指導者準認定資格」の取得を目指す。						
評価方法	小課題・ノート提出（30%）、英文法小テスト（30%）、アクティビティ発表（10%）、LESSON PLAN作成（30%）						
評価基準	小課題・ノート提出：通信講座の振り返りチェックを行っているか。 英文法小テスト：通信講座『英語力トレーニング』確認テストのスコア アクティビティ発表：LESSON PLANに即して講義で学んだ教授技術を実践に生かすことができたか。 LESSON PLAN作成：作成手順に即し子どもの発達に合ったプランになっているか。						
準備学修の時間	本科目の一回（90分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均180分が求められる。						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	児童英語教師とは	講義、グループワーク、DVD視聴	『基礎知識1』Week1,2の予習、振り返りチェック
2	子どもと英語—児童英語教育の意義・目的	講義、グループワーク、DVD視聴	『基礎知識1』Week3の予習 振り返りチェック
3	児童心理学（1）—幼児期の心理—	講義、グループワーク	『基礎知識1』Week4の予習
4	児童心理学（2）—児童期の心理—	講義、グループワーク	『基礎知識1』Week4の予習 振り返りチェック
5	言語習得論	講義、グループワーク	『基礎知識1』Week5の予習 振り返りチェック
6	認知発達理論	講義、グループワーク	『基礎知識1』Week6の予習 振り返りチェック
7	バイリンガル教育	講義、グループワーク	『基礎知識1』Week7の予習 振り返りチェック
8	国際理解教育	講義、グループワーク	『基礎知識1』Week8の予習 振り返りチェック
9	小学校英語活動の位置づけ（1）—小学校における「外国語活動」の目標と内容—	講義、グループワーク	『基礎知識2』Week1の予習
10	小学校英語活動の位置づけ（2）—小学校における「外国語活動」の留意点—	講義、グループワーク	『基礎知識2』Week1の予習 振り返りチェック

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
11	小学校英語活動の意義と課題	講義、グループワーク	『基礎知識2』Week2の予習 振り返りチェック
12	小・中・高の連携	講義、グループワーク	『基礎知識2』Week3の予習 振り返りチェック
13	求められる英語活動指導者とは	講義、グループワーク	『基礎知識2』Week4の予習 振り返りチェック
14	代表的な英語教授法・指導法(1) — 教授法と指導法の基礎知識 —	講義、グループワーク	『基礎知識3』Week5の予習
15	代表的な英語教授法・指導法(2) — 代表的な指導法 —	講義、グループワーク	『基礎知識3』Week5の予習 振り返りチェック
16	クラスルーム・イングリッシュ	講義、グループワーク	『英語力トレーニング2』 Week13~15の予習
17	語彙力のトレーニング	講義、グループワーク	『英語力トレーニング2』 Week16~18の予習
18	パラフレーズ力のトレーニング	講義、グループワーク	『英語力トレーニング2』 Week19~21の予習
19	状況設定力のトレーニング	講義、グループワーク	『英語力トレーニング2』 Week22~24の予習
20	カリキュラムとレッスンプラン	講義、グループワーク	『基礎知識3』Week6の予習
21	教材・教具	講義、グループワーク	『基礎知識3』Week7の予習 振り返りチェック
22	レッスンを構成するアクティビティ(1) — レッスンに適したアクティビティ —	講義、グループワーク	『基礎知識3』Week8の予習
23	レッスンを構成するアクティビティ(2) — 代表的なアクティビティ例 —	講義、グループワーク	『基礎知識3』Week8の予習 振り返りチェック
24	レッスンプランの考え方	講義、グループワーク	『レッスンプラン作成ガイド』Week9の予習
25	レッスンプランの書き方	レッスンプランの作成	『レッスンプラン作成ガイド』Week10の予習
26	レッスンプランの作成(1)	レッスンプランの作成	レッスンプランの作成
27	レッスンプランの作成(2)	レッスンプランの作成	レッスンプランの作成
28	アクティビティ発表(1)	学生発表、相互評価、講評	発表の準備と練習
29	アクティビティ発表(2)	学生発表、相互評価、講評	発表の準備と練習
30	アクティビティ発表(3)	学生発表、相互評価、講評	発表の準備と練習

テキスト	「アルク児童英語教師養成コース」(アルク)で使用するテキスト(基礎理論編、レッスンプラン編)およびその他のプリント配布物。
参考書	文部科学省『Hi! Friends①』、『Hi! Friends②』(東京書籍)
履修条件、前提科目	アルクの通信講座「アルク児童英語教師養成コース」をベースとする授業のため、同講座を受講することが必須となる(別途費用がかかる)。
その他特記事項	<ul style="list-style-type: none"> この授業の終了時には少なくともTOEIC500点以上となるよう努力すること。 この授業を取る者は積極的にサービスマーケティング活動に参加すること。

科目名	JPN300: 日本語教育演習					担当教員	宮崎 幸江
開講期	春	開講時限	月 1・2 限	研究室	4217	オフィスアワー	P.16 を参照のこと
分類	選択	単位	4	標準受講年次	2年	連絡先	
キーワード	年少者日本語教育、バイリンガル、JSLカリキュラム、アセスメント						
授業の概要	この授業では、秋学期に日本語教育概論で学んだ外国語としての日本語の教え方を発展させる。学期前半はバイリンガルの言語発達に関する理論を学び、後半は日本国内で日本の学校に通う児童生徒への日本語指導の方法を中心に学ぶ。日本語指導をどのように他の教科学習に取り入れるか、在籍クラスでの教科学習にどのような指導が必要かをJSLカリキュラムの概念にしたがって学習する。						
達成目標	本科目は、バイリンガルの言語発達に関して学ぶことで、成人と年少者の第二言語の習得の違いを理解できるようになり、成人と年少者にあった日本語の教え方を工夫できるようになることを目的とする。						
到達目標	学期末には、日本語指導が必要な児童の認知的な発達レベルを考慮した教科（国語、算数、理科、社会）の授業計画と実践ができるようになる。学習者の日本語のレベルに合わせた言葉の使用や視覚教材の作成、学習者の学びを助ける声かけや説明のくだけ方ができるようになる。						
評価方法	授業への積極参加 10%、小テスト 30% 模擬授業 30%、期末課題（教案作成） 30%						
評価基準	授業への積極参加：授業での発言やグループワークへの貢献を評価する。 小テスト：既に学習した授業の内容の理解確認。 模擬授業：授業計画、教案作成、実践のスムーズさ、スキャフォールディングの質を総合的に評価する。 期末レポート：教科学習の内容をよく理解し授業計画がたてられているか、実践可能な教案を作成できるか、使用する言語は学習者のレベルに相応しいものかを評価する。						
準備学修の時間	本科目の一回（90分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 180 分が求められる。						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	年少者日本語教育とは	講義、ディスカッション、質疑応答	秋学期のカレッジフレンドについてまとめる
2	カレッジフレンドの振り返り	グループワーク、発表	振り返り内容を記述する
3	第1章 バイリンガルとは	講義、ディスカッション、質疑応答	第1章を読む
4	第2章 子どもの母語の発達と年齢	講義、ディスカッション、質疑応答	第2章を読む
5	第3章 バイリンガル教育の理論	講義、ディスカッション、質疑応答	第3章を読む
6	第4章 家庭で育てるバイリンガル	講義、ディスカッション、質疑応答	第4章を読む
7	第7章 海外子女とバイリンガル教育 英語の会話力と読解力	小テスト、解説、講義	小テスト準備
8	第7章 海外子女とバイリンガル教育 日本語力の衰えと維持	小テスト、解説、講義	第7章を読む
9	第8章 日系人子女とバイリンガル教育 在外教育機関とカリキュラム	講義、ディスカッション、質疑応答	第8章を読む
10	第8章 日系人子女とバイリンガル教育 日本語補習授業校のカリキュラム	講義、ディスカッション、質疑応答	第8章を読む

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修(予習・復習)
11	マイノリティと教育	小テスト、解説、講義	小テスト準備
12	第6章 アメリカのバイリンガル教育	講義、ディスカッション、質疑応答	第6章を読む
13	第5章 カナダのイマージョン教育	講義、ディスカッション、質疑応答	第5章を読む
14	多文化国家における言語マイノリティと教育—オーストラリアの場合	講義、ディスカッション、質疑応答	ハンドアウト読む
15	多文化国家における言語マイノリティと教育—オーストララリアの場合	講義、ディスカッション、質疑応答	ハンドアウト読む
16	言語マイノリティの子どもの教え方1—取り出し授業	小テスト、解説、講義	小テスト準備
17	言語マイノリティの子どもの教え方2—スキップオールディング	講義、ディスカッション、質疑応答	ハンドアウト読む
18	日本におけるマイノリティの教育	講義、ディスカッション、質疑応答	ハンドアウト読む
19	JSLカリキュラム—開発の背景	講義、質疑応答	ハンドアウト読む
20	JSLカリキュラム—国語の教え方	グループワーク	ハンドアウト読む
21	JSLカリキュラム—算数の教え方	グループワーク	ハンドアウト読む
22	JSLカリキュラム—社会の教え方	講義、ディスカッション、質疑応答	ハンドアウト読む
23	JSLカリキュラム—理科の教え方	講義、ディスカッション、質疑応答	ハンドアウト読む
24	JSLカリキュラムを使ったレッスンプラン作成	グループワーク	模擬授業準備
25	模擬授業グループ1 模擬授業を観察し、記録をとる	模擬授業分析	模擬授業準備
26	模擬授業グループ2 授業観察とディスカッション	模擬授業分析	模擬授業準備
27	模擬授業グループ3 授業観察ノートの取り方	模擬授業分析	模擬授業準備
28	模擬授業グループ4 科目による教え方の違い	模擬授業分析	模擬授業準備
29	まとめ	講義、ディスカッション、質疑応答	復習
30	学期のまとめ	期末課題の説明	復習

テキスト	中島和子『バイリンガル教育の方法』(アルク)
参考書	佐藤郡衛他『小学校JSLカリキュラム「解説」』(スリーエーネットワーク)
履修条件、 前提科目	日本語教育概論を履修済みであることを条件とする。
その他 特記事項	5月以降カレッジフレンドへの参加を原則とするため、木曜日の午前中は、I限とサービ スラーニング枠(木II限)に他の授業を履修することはできない。